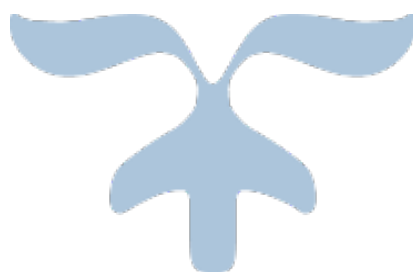


SYLLABUS

令和2年度高大連携授業

前期授業計画

(科目概要)



大学コンソーシアムあきた

目 次

1	英語の楽しさ再発見	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	1
2	大学の基礎生物実験入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	2
3	「フランス語・フランス文化」入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	3
4	秋田の今とこれから	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	4
5	最新の遺伝子組換え技術への道・基礎コース	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	5
6	最新の遺伝子組換え技術への道・応用コース	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	6
7	細胞ではたらくタンパク質の世界・基礎コース	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	7
8	医療・創薬を志向したタンパク質の科学・応用コース	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	8
9	身近な有機化学・有機化合物	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	9
10	高校生のための応用化学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	10
11	地球温暖化と発電システム	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	11
12	高校生のための材料工学 Ser. 1	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	12
13	再生可能エネルギー入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	13
14	半導体センサーとエッジAI 技術入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	14
15	高校生のための最新人間情報学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	15
16	自然災害と防災の基礎	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	16
17	コミュニケーション学への招待	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	17
18	宇宙プラズマ科学入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	18
19	AI・ロボット時代のメカトロニクス	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	19
20	C言語プログラミング	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	20
21	コンピュータ、役に立ちます	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	21
22	生物の不思議な世界	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	22
23	高校で学ぶ生物はどこまで進んでいるか？	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	23
24	バイオテクノロジーへの招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	24
25	おもしろ生物学 ここだけのはなし	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	25

26	生物環境科学への招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	26
27	高校生のためのアグリビジネス入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	27
28	国際教養学への招待	(国際教養大学)	・ ・ ・ ・ ・	28
29	現代経済学の基礎 (「私」の問題)	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	29
30	現代経済学の基礎 (「時間」の問題)	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	30
31	現代経済学の基礎 (「心」の問題)	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	31
32	現代経済学の基礎 (「自由」とは何か)	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	32
33	現代経済学の基礎 (生きるとは)	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	33
34	社会保険とは	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	34
35	国際教養の基本	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	35
36	インターネットが学校に代わる?	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	36
37	歴史を動かす簿記・会計について	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	37
38	自分を守り、誰かを守る心理学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	38
39	心理学で人狼ゲームを分析しよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	39
40	世界史と法学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	40
41	裁判所のアップデート	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	41
42	制定過程から日本国憲法を考えてみよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	42
43	高校生の刑法入門	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	43
44	高校生のための安全保障学入門	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	44
45	高校生のための医事法入門	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	45
46	高校生の国際観光論①	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	46
47	高校生の国際観光論②	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	47
48	ようこそ看護学の世界へ	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	48
49	福祉学の探究	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	49
50	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	・ ・ ・ ・ ・	50

5 1	超絶素描の体操	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 1
5 2	美大の大石膏像：古代彫刻の傑作を描く	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 2
5 3	多様な美術の価値観を知る	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 3
5 4	立体構成入門	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 4
5 5	リ・デザイン	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 5
5 6	景観デザインワークショップ	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 6
5 7	地形と建築・都市のデザイン	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 7
5 8	正倉院とシルクロードの古代美術	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 8
5 9	初めての言語学	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 9
6 0	ようこそ保育の道へ	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 0
6 1	食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 1
6 2	身近な社会福祉の問題を考えてみよう	(日本赤十字秋田短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 2
6 3	楽しく学べる保育入門	(聖園学園短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 3
6 4	模型でさぐる建築の空間構成	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	6 4
6 5	銀細工の面白さ	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	6 5
6 6	AI 入門	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	6 6

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	英語の楽しさ再発見 (英語を様々な角度から研究する)		科目	〈学部・学科〉教育文化学部 学校教育課程	
			担当者	(職・氏名) 准教授 若有 保彦 (代表) 他 (計5名)	
授業概要 大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言語の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的な方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。					
授業方法と留意点	担当者の話を聞くだけでなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともある。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくてもかまわない。英語が苦手という人にとっても、新しい視点から英語を見直す機会になるものと期待する。				
授 業 計 画					
< 6月10日 (水) >					
第1講： 「第二言語習得－英語学習へのヒント」					
教 授 佐々木 雅子					
< 6月17日 (水) >					
第2講： 「英語研究と英語学習」					
教 授 星 宏人					
< 6月24日 (水) >					
第3講： 「英語発達史」					
准教授 エイドリアン・パターソン					
< 7月1日 (水) >					
第4講： 「英語学習の目的と効果的な英語学習法」					
准教授 若有 保彦					
< 7月8日 (水) >					
第5講： 「『ロミオとジュリエット』で知るシェイクスピア」					
教 授 佐々木 和貴					
テキスト	プリント等を配布します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	英語				
開講日時	6/10 (水)	6/17 (水)	6/24 (水)	7/1 (水)	7/8 (水)
	17:30～19:00				
会 場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス				
	電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00～17:00)				
	科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	大学の基礎生物実験入門 (大学で観察・解剖・実験を体験する)		科目 担当者	(学部・学科) 教育文化学部 学校教育課程 (職・氏名) 教授 石井 照久	
授業概要 大学の生物学では、観察・解剖・実験などを重要視し、生き物から生命現象を捉えようとしています。本授業では大学で実際に観察・解剖・実験を体験してもらいます。生き物の解剖や実験が好きな高校生を歓迎します。					
授業方法と留意点 参考文献は、購入の必要はありません。受講生全員に毎回、解剖・実験等を行ってもらいます。授業中に <u>自分のスマートフォン等で顕微鏡写真等をとることができます。</u>					
授 業 計 画					
< 6月16日 (火) >					
第1講： 「大学の生物学はここが違う！」 アカデミックガイダンス 観察・解剖・実験から学ぼう 生き物を観察しよう					
< 6月23日 (火) >					
第2講： 「細胞をみてみよう！」 普段見慣れている生き物の細胞を顕微鏡で観察しよう 誰が顕微鏡を発明したの？					
< 6月30日 (火) >					
第3講： 「動物の体をみよう！」 動物の体は基本的には似ている 解剖して動物の体の中をみてみよう					
< 7月7日 (火) >					
第4講： 「海の生物を知ろう！」 地表の約70%を占める海には多様な生物がいる 海の生き物を観察しよう					
< 7月14日 (火) >					
第5講： 「遺伝子の正体であるDNAをみよう！」 遺伝子は何をしているか？ 遺伝子の正体であるDNAを実際に抽出してみよう この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1 <u>※土足厳禁のお部屋の為、備えつけのスリッパを使用するか、自前の上履きを持参ください。</u>					
テキスト	なし				
参考文献	「遺伝子時代の基礎知識」 東嶋和子著 講談社 1040円＋税 「“生きている”ってどういうこと」 培風館 2400円＋税				
関連科目	なし				
開講日時	6/16 (火)	6/23 (火)	6/30 (火)	7/7 (火)	7/14 (火)
	17:30～19:00				
会場	秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部4号館307実験室				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00～17:00) 科目担当者E-mail: tishii@ed.akita-u.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	「フランス語・フランス文化」入門	科目担当者	(学部・学科) 教育文化学部 地域文化学科 (職・氏名) 准教授 辻野 稔哉
授業概要 フランス語での挨拶から始めて、簡単なフランス語会話に触れます。またフランス文化についても解説します。大学の授業の雰囲気を感じながら、フランス語の広い世界に最初の一步を踏み出しましょう。			
授業方法と留意点	毎回、プリントを配付して授業を進めていきます。		
授 業 計 画			
< 6月10日 (水) >			
第1講：			
「フランス語を喋ってみよう！」			
難しいことは後回し。フランス語を喋ってみよう！			
< 6月17日 (水) >			
第2講：			
「フランスは面白い！」			
フランス語を学びながら、フランスのことも学んでみよう！			
< 6月24日 (水) >			
第3講：			
「様々なフランスの文化について」			
文学や映画など、フランス文化にも触れてみよう！			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	講義内容についてのプリントを毎回配付します。		
参考文献	適宜、授業内で紹介して行きます。		
関連科目	国際学、文学		
開講日時	6/10 (水)	6/17 (水)	6/24 (水)
	17:30~19:00		
会場	秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部3号館 3階 342講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	秋田の今とこれから	科目	(学部・学科) 教育文化学部 地域文化学科
		担当者	(職・氏名) 准教授 臼木 智昭
授業概要	少子・高齢化が進む秋田の「今とこれから」について解説します。秋田が直面する課題や、秋田の産業のこれから、地域活性化に向けた取り組みなどについて、具体的な事例を交えながらお話します。		
授業方法と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。 地域課題とその解決に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		
授 業 計 画			
＜ 6 月 7 日（日） ＞			
第1講：（11：10～12：40）			
「秋田の課題」			
最新のデータをもとに、秋田県が直面する課題を解説します			
※12：40～13：20 昼食時間（昼食を持参ください。）			
第2講：（13：20～14：50）			
「秋田の産業 —今とこれから—」			
秋田県の産業はどのような状況にあって、これからどうなっていくのかを解説します			
第3講：（15：00～16：30）			
「地域活性化に向けた取り組み」			
地域活性化に向けた秋田県内の取り組みを紹介します			
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	現代社会、政治・経済		
開講日時	6 / 7（日）		
	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス		
	電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9：00～17：00）		
	科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	最新の遺伝子組換え技術への道〈基礎〉 高校の生物からバイオ創薬へ (生命科学への招待・基礎コース)	科目 担当者	〈学部・学科〉理工学部 生命科学科 (職・氏名) 教授 疋田 正喜
授業概要	近年、遺伝子組換え技術が著しい発展を遂げており高校生物の内容と大きな隔たりがあります。この溝を埋められるよう平易な内容から動物の遺伝子組換えやバイオ創薬などの最先端科学の基礎を解説します。		
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。 「生物学基礎」や「化学基礎」を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		
授 業 計 画			
<p>< 6月7日 (日) ></p> <p>第1講： 「遺伝子とは」 DNA、RNAの種類と役割を説明します。また、DNAにコードされている動物細胞の遺伝子の構造と働きについても詳しく解説します。</p> <p>< 6月21日 (日) ></p> <p>第2講： 「遺伝子組換えの理論と実際」 遺伝子組換えの歴史について触れつつ、プラスミドの性質や利用法について説明します。また、動物細胞への外来遺伝子の導入や遺伝子破壊について、最新の遺伝子編集技術を含めて解説します。</p> <p>< 6月28日 (日) ></p> <p>第3講： 「動物の遺伝子組換えとバイオ創薬や遺伝子治療」 動物個体における遺伝子操作について解説します。また、バイオ創薬や遺伝性疾患の治療技術についても触れます。講義の最後に大学のバイオ研究を実施している研究室の見学も体験します。</p> <p style="text-align: center;">この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1</p>			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎、科学		
開講日時	6/7 (日)	6/21 (日)	6/28 (日)
	13:00～14:30		
会場	秋田大学 手形キャンパス 地方創生センター2号館2階 大セミナー室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室	
欠席連絡先	電話：018-889-3280（平日9:00～17:00） 科目担当者E-mail:hikida@gipc.akita-u.ac.jp（緊急の場合は当日も可）		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	最新の遺伝子組換え技術への道〈応用〉 高校の生物からバイオ創薬へ (生命科学への招待・応用コース)	科目 担当者	〈学部・学科〉理工学部 生命科学科 (職・氏名) 教授 疋田 正喜
授業概要	近年、遺伝子組換え技術が著しい発展を遂げており、高校生物の内容と大きな隔たりがあります。この溝を埋められるよう平易な内容から最先端のゲノム編集やバイオ創薬まで解説します。基礎コースの応用編です。		
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。同時期に開講の「最新の遺伝子組換え技術への道（生命科学への招待・基礎コース）」の応用編に相当します。平易な解説を行いますが、高等学校の生物学基礎や化学基礎を履修済みの方が理解しやすいと思います。		
授 業 計 画			
＜6月7日（日）＞ 第1講： 「 遺伝子発現ベクターと様々な遺伝子導入法 」 プラスミドの基本構造や、細胞への様々な導入方法の利点・欠点について解説します。			
＜6月21日（日）＞ 第2講： 「 組換え細胞の検出法 」 遺伝子組換え実験において外来遺伝子が導入された細胞を導入されていない細胞と区別して、それらの細胞でだけ機能を調べるためのプラスミドの構造や方法について概説します。			
＜6月28日（日）＞ 第3講： 「 ゲノム編集の基礎と創薬への応用 」 近年、注目を集めているゲノム編集の基礎と応用、また、ゲノム編集の何が革新的なのか、最新のバイオ創薬や医療への応用を含めて概説します。講義の終わりに、 <u>ごく簡単なバイオ実験も体験</u> します。			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎、化学		
開講日時	6/7（日）	6/21（日）	6/28（日）
	14：45～16：15		
会場	秋田大学 手形キャンパス 地方創生センター2号館2階 大セミナー室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室	
欠席連絡先	電話：018-889-3280（平日9：00～17：00） 科目担当者E-mail:hikida@gipc.akita-u.ac.jp（緊急の場合は当日も可）		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	細胞ではたらくタンパク質の世界 (生命科学への招待・基礎コース)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 生命科学科 (職・氏名) 教授 尾高 雅文
授業概要	タンパク質は生物で中心的な役割を果たしており、多くの薬の標的となります。この授業では、タンパク質の基本から細胞での役割、創薬との関係までわかりやすく解説します。生命科学の入門的な講義になります。		
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。 「生物基礎」や「化学基礎」を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		
授 業 計 画			
< 6月7日 (日) >			
第1講： 「蛋白質とは何か」 タンパク質とはどんなものなのか。基礎から具体的な例を挙げて説明します。高校で生物を学んでいない学生にも理解できるように、基礎から丁寧に講義をします。			
< 6月21日 (日) >			
第2講： 「蛋白質のかたちとはたらき」 タンパク質はそれぞれ決まった“かたち”と“はたらき”をもっています。いくつかの特徴あるタンパク質を例に挙げ、“かたち”と“はたらき”に基づいた蛋白質研究の方法を学びます。			
< 6月28日 (日) >			
第3講： 「蛋白質の利用と創薬」 タンパク質は工業・農業などの産業、あるいは創薬など様々なところで利用されています。身近な例から先端の創薬技術まで、専門知識がなくてもわかるように、概要を解説します。 また、 <u>授業の最後に大学の施設の見学も実施</u> します。			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎、化学		
開講日時	6/7 (日)	6/21 (日)	6/28 (日)
	14:45~16:15		
会 場	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 (理工学部6号館) 1階講義室		
欠席連絡先	電話：018-889-3280 (平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail:modaka@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	医療・創薬を志向したタンパク質の科学 (生命科学への招待・応用コース)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 生命科学科 (職・氏名) 教授 尾高 雅文
授業概要	タンパク質は多くの疾患に関連し、薬の標的となっています。この授業ではタンパク質の“かたち”と“はたらき”を調べる研究法を紹介し、その後、医療・創薬を志向したタンパク質研究について例をあげて紹介します。		
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。同時期に開講の「基礎から創薬までを学ぶ蛋白質の科学（基礎コース）」の応用編に相当します。平易に解説しますが、高等学校の生物基礎や化学基礎を履修済みのほうが望ましいと思います。		
授 業 計 画			
<p>< 6 月 7 日 (日) ></p> <p>第1講： 「タンパク質のかたちとはたらき」 タンパク質のかたちを調べる方法とタンパク質の働きを調べる方法について、例をあげてわかりやすく紹介します。</p> <p>< 6 月 2 1 日 (日) ></p> <p>第2講： 「プロテオミクス入門」 ヒトには約10万種類のタンパク質が存在すると云われています。ある細胞や組織に存在するタンパク質を網羅的に調べる手法であるプロテオミクスという方法について簡単に紹介するとともに、私たちが研究している疾患研究への応用の試みについても解説します。</p> <p>< 6 月 2 8 日 (日) ></p> <p>第3講： 「薬の科学」 薬はどのように効くのか？ いくつかの例を紹介するとともに、近年進められている新しい創薬への試みについても紹介します。また、授業の中で、簡単なタンパク質研究についても体験します。</p> <p style="text-align: center;">この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1</p>			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎、化学		
開講日時	6 / 7 (日)	6 / 2 1 (日)	6 / 2 8 (日)
	13 : 00 ~ 14 : 30		
会 場	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）1階講義室		
欠席連絡先	電話：018-889-3280（平日9：00～17：00） 科目担当者E-mail: modaka@gipc.akita-u.ac.jp（緊急の場合は当日も可）		

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	身近な有機化学・有機化合物			科目	(学部・学科) 理工学部 生命科学科
				担当者	(職・氏名) 教授 藤原 憲秀
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。				
授業方法と留意点	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。				
授 業 計 画					
< 6月7日 (日) >					
第1講： (10:30~12:00) 「 有機化合物のかたちの調べ方 」					
<u>※12:00~12:50 昼食時間 (昼食を持参ください)</u>					
第2講： (12:50~14:20) 「 スパイスの色と香りと刺激の有機化合物 」					
第3講： (14:30~16:00) 「 色調の変化する人工色素の有機化学 」					
< 6月14日 (日) >					
第4講： (12:50~14:20) 「 健康と天然有機化合物 」					
第5講： (14:30~16:00) 「 自然毒の有機化学 」					
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1					
テキスト	講義の各回資料を配布します。				
参考文献	配布資料に掲載します。				
関連科目	化学基礎・化学・家庭（食品）				
開講日時	6/7 (日)			6/14 (日)	
	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	12:50~14:20	14:30~16:00
会 場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室				
欠席連絡先	電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00） 科目担当者E-mail: fjkwn@gipc.akita-u.ac.jp（緊急の場合は当日も可）				

		大学等名		秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	高校生のための応用化学 (化学と社会の接点を知ろう)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 物質科学科 (職・氏名) 教授 後藤 猛 他 (計5名)		
授業概要	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。				
授業方法 と留意点	主にプロジェクターを利用します。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。				
授 業 計 画					
< 6月27日 (土) >					
第1講：(13:30~15:00)					
「クリーンエネルギー」		教授 村上 賢治			
石炭やバイオマスなどの固体燃料からエネルギーを化学の力で上手く取り出すことがクリーン化に繋がることを解説します。					
第2講：(15:15~16:45)					
「環境浄化に役立つ無機材料と化学技術」		教授 加藤 純雄			
社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ物質、技術を化学の視点から解説します。					
< 6月28日 (日) >					
第3講：(9:30~11:00)					
「身の回りで活躍する有機材料」		教授 寺境 光俊			
我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。					
第4講：(11:10~12:40)					
「ビーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか？」		准教授 高橋 博			
化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう					
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください)					
第5講：(13:20~14:50)					
「バイオテクノロジーの中の化学」		教授 後藤 猛			
今日ではいろいろな場面で活躍しているバイオテクノロジー、その仕組みを化学の視点から易しく解説します。					
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1					
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を当日に配付します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	化学				
開講日時	6/27 (土)		6/28 (日)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館 大学院講義室 (IV-113)				
欠席連絡先	電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: tgotoh@gipc.akita-u.ac.jp(緊急の場合は当日も可)				

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	地球温暖化と発電システム (温室効果ガスを出さない発電システムとは)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 物質科学科 (職・氏名) 准教授 福本 倫久
授業概要 各種プラントから排出される二酸化炭素によって地球温暖化が起こっている。この授業では最も二酸化炭素を排出している火力発電について学習し、日本が取り組むべき排出量ゼロ発電について簡単な実験を通して考える。			
授業方法と留意点 講義と簡単な実験を行い、今後の日本が取り組むべき課題について議論をしながら進めますので、活発な議論をできることを期待します。			
授 業 計 画			
< 7月16日 (木) >			
第1講：			
「火力発電と地球温暖化について」			
火力発電について学習し、この発電システムと地球温暖化の関連性について学習する			
< 7月30日 (木) >			
第2講：			
「ガスタービン発電と原子力発電について」			
高効率発電システムと原子力発電について学習し、排出量を減らした発電システムについて理解する			
< 8月6日 (木) >			
第3講：			
「サステナブル社会を構築するために」			
秋田版サステナブルについて簡単な実験を行い、日本の電気エネルギー問題についてディベートする			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配付します。		
参考文献	講義の中で紹介します。		
関連科目	化学、物理		
開講日時	7/16 (木)	7/30 (木)	8/6 (木)
	17:30~19:00		
会 場	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00） 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	高校生のための材料工学 Ser. 1 (溶かし固める金属加工にトライ！)	科目担当者	(学部・学科) 大学院理工学研究科 物質科学専攻 (職・氏名) 教授 大口 健一 他 (計3名)
授業概要	液体状態の金属を型に流し込む鋳造法と金属粉末を加熱して固める焼結法による錫・銀製アクセサリー作りを通じて、ものづくりに欠かせない材料加工法の種類や特徴、および材料工学と社会のつながりを学びます。		
授業方法と留意点	授業形式で概要を説明した後に、 実習形式でキーホルダーやペンダントのような金属製アクセサリーを作製 して頂きます。積極的に参加して下さい。		
授 業 計 画			
《先着20名で募集を締め切ります》			
< 6月13日 (土) >			
第1講：(13:30~15:00) 第2講：(15:15~16:45)			
「鋳造による材料加工」			
教授 大口健一，講師 後藤育壮，助教 福地孝平			
「材料工学」や「材料加工学」と言ったものづくりに欠かせない「材料」に関する簡単な授業をした後に、錫合金製アクセサリーの鋳造体験をしてもらいます。最終的な作品の形状の元となる砂型の作製、液体状態の金属を砂型に流し込む注湯、砂型から作品を取り出す型ばらしなどの体験を通じて、材料加工法の種類や特徴、および材料工学と社会のつながりについて学んで下さい			
< 6月20日 (土) >			
第3講：(13:30~15:00) 第4講：(15:15~16:45)			
「焼結による材料加工」			
教授 大口健一，講師 後藤育壮，助教 福地孝平			
「材料工学」や「材料加工学」と言ったものづくりに欠かせない「材料」に関する簡単な授業をした後に、銀粘土を焼結させる、銀製アクセサリー作りを体験してもらいます。最終的な作品の形状の元となる銀粘土の成形、作品の焼結などの体験を通じて、材料加工法の種類や特徴、材料工学と社会のつながりについて学んで下さい。作品を焼結している間の時間には、材料の様々な性質を調べるための試験装置や、金属の性質に関する簡単な実験などを見学して頂きます。			
※今回の授業をSer. 1として、今後Ser. 2, 3, 4...と順に体験型授業を展開していく予定です。			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	物理、化学、数学		
開講日時	6/13 (土)		6/20 (土)
	13:30~16:45		
会 場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部 3号館 1階 114 学生実験室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス		
	電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	再生可能エネルギー入門 (基礎知識から秋田の最新動向まで)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 数理・電気電子情報学科 (職・氏名) 教授 熊谷 誠治
授業概要 エネルギーと環境に関する社会情勢と技術は、刻々と変化しています。本授業では、再生可能エネルギーに関する基礎知識を身に付けます。さらに、世界的動向から地元秋田での取り組みまで、最新情報を提供します。			
授業方法と留意点 パワーポイントとプリントを用いて授業を進めます。物理と化学の履修は必須ではありません。再生可能エネルギーに興味があれば十分に理解できる内容です。			
授 業 計 画			
< 7月4日 (土) > 第1講： 「日本および世界のエネルギー情勢と再生可能エネルギーとは」 日本および世界のエネルギー情勢、再生可能エネルギーの種類や特徴について学びます。また、水力発電についても説明します。			
< 7月11日 (土) > 第2講： 「風力発電、太陽光発電、地熱発電」 個別の再生可能エネルギーの原理や特性について学びます。洋上風力発電や秋田に豊富に存在する地熱について説明します。			
< 7月18日 (土) > 第3講： 「蓄電技術、バイオマスの利用とカーボンニュートラル」 再生可能エネルギーの有効利用を助けるリチウムイオン電池などの蓄電技術を説明します。また、バイオマスとその特徴であるカーボンニュートラルについて学びます。エネルギー利用可能なバイオマスの種類やその特性について説明します。秋田での取り組みについても紹介します。			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	物理、物理基礎、化学、化学基礎		
開講日時	7/4 (土)	7/11 (土)	7/18 (土)
	13:30~15:00		
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館 1階 D-130 講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

		大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	半導体センサーとエッジAI技術入門	科目担当者	(学部・学科) 理工学部 数理・電気電子情報学科 (職・氏名) 准教授 佐藤 祐一
授業概要	様々な形態の事象を電気信号と画像に変える半導体センサー、およびそれらに直接結びつけられる小型コンピューターと人工知能 (AI) 技術の入門的な内容について、簡単な講義と体験学習を通じて学びます。		
授業方法と留意点	初回は全体的な基礎知識に関する簡単な講義, 2回目は実際の半導体センサーや小型コンピューターを用いた体験学習を行います。		
授 業 計 画			
< 8月18日 (火) >			
第1講： (13:30~15:00)			
「半導体センサー、小型コンピューター、AI技術入門」			
主に以下の内容について講義により学んでいきます。 赤外線サーモグラフィやCMOSイメージセンサーなどの半導体を用いた信号変換素子の基礎知識。 シングルボードコンピューター (ラズベリーパイなど) と呼ばれる小型コンピューターの概要。 AI技術 (機械学習, 深層学習など) の基礎知識。			
第2講： (15:10~16:40)			
「半導体センサー、小型コンピューターによるAI技術の体験学習」			
様々な赤外線検出素子 (赤外線サーモグラフィなど) の実際に触れ、また、小型コンピューター (ラズベリーパイ) を用いて、簡単なAI技術による認識の実際などについて体験してもらいます。			
この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所：秋田市手形学園町1-1			
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献			
関連科目			
開講日時	8/18 (火)		
	13:30~15:00	15:10~16:40	
会 場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館 2階 D-230 講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

		大学等名	秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	高校生のための最新人間情報学 (AIからVRまで)	科目 担当者	(学部・学科) 理工学部 数理・電気電子情報学科 (職・氏名) 教授 有川 正俊 他 (計3名)	
授業概要	優れたサービスをつくるためには、人間に対する深い理解が必要です。ヒトに優しい人間情報分野の最新技術について紹介し、秋田に住む人々の暮らしを良くするためのアイディと手段について一緒に考えたいと思います。			
授業方法 と留意点	スライドと配布プリントにより講義します。また、人間情報分野の最新技術を体験できるデモンストレーションも用意しています。			
授 業 計 画				
< 6月6日 (土) >				
第1講：(13:30~15:00)				
「空間情報学で活かす秋田の風土」				
教授 有川 正俊				
GPSの精度は向上し、スマートフォンの進化は今後も加速していきます。「外国人や道に迷いやすい人でも秋田の魅力を満喫できる」そんな未来をつくる技術について講義します。				
第2講：(15:15~16:45)				
「バーチャルリアリティと5Gで拓く秋田の未来」				
教授 水戸部 一孝				
コンピュータの進化に伴いVRを身近に楽しめる時代になりました。「秋田に住みながら東京やニューヨークで琴を教える？」そんな未来をつくる技術について講義します。				
< 6月13日 (土) >				
第3講：(13:30~15:00)				
「画像・センシングで見守る秋田の暮らし」				
教授 景山 陽一				
Society5.0は秋田の人々の暮らしをどのように変えるでしょうか？「家族のように体調や気持ちの変化に気付いてくれる」そんな未来を創る技術について講義します。				
< 7月23日 (木祝) >				
第4講：(13:30~15:00)				
「最新技術のデモンストレーション」				
(於 秋田大学手形キャンパス 理工学部5号館)				
秋田大学のオープンキャンパスに合わせて人間情報工学コースの最新研究成果の体験型デモンストレーションを開催します。				
<u>《注意》第4講は秋田大学を会場に開講します。</u>				
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	情報、生物、数学、物理、国語			
開講日時	6/6 (土)		6/13 (土)	7/23 (木祝)
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	13:30~15:00
会場	カレッジプラザ			秋田大学 手形キャンパス 理工学部5号館
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: arikawa@ie.akita-u.ac.jp(緊急の場合は当日も可)			

		大学等名	秋田大学	
科目名 (サブタイトル)	自然災害と防災の基礎		科目担当者	(学部・学科) 地方創生センター 地域協働・防災部門 (職・氏名) 准教授 鎌滝 孝信
授業概要	我々が地球上で生活していく上で、様々な自然災害との遭遇は避けて通れない事象と言えます。この授業では、地震、津波をはじめとした自然災害の発生メカニズムやその防災、減災についての基礎を学びます。			
授業方法と留意点	授業は配布するプリントに沿って進めます。初回の授業で、最近発生した自然災害の中で自分の心に深く残っているものについて、聞きます。事前に新聞記事等を調べておいて下さい。			
授 業 計 画				
< 6月3日 (水) >				
第1講： 「自然災害や防災に関する最近の話題について」				
< 6月10日 (水) >				
第2講： 「自然災害の発生メカニズムについて」				
< 6月17日 (水) >				
第3講： 「過去に発生してきた地震、津波について」				
< 7月1日 (水) >				
第4講： 「地震、津波防災を「我がこと」として考える」				
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します。			
参考文献	授業の中で適宜紹介します。			
関連科目	理科（地学），社会科（地理）			
開講日時	6/3 (水)	6/10 (水)	6/17 (水)	7/1 (水)
	17:30～19:00			
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9:00～17:00） 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田大学		
科目名 (サブタイトル)	コミュニケーション学への招待		科目 担当者	(学部・学科) 高等教育グローバルセンター (職・氏名) 助教 浜田 典子	
授業概要	この授業では、「聞き書き」プロジェクトを通して、私達が言葉を使用することが社会にどう影響しているのかを感じながら、ことばを使うことの意味について考えていきます。				
授業方法 と留意点	<p>先着7名の小規模クラスで「聞き書き」プロジェクトに取り組みます。聞き書きとは、インタビューを行い、その人の人生を丁寧に聞きだし、そこで得られた言葉を他の誰かに伝えるために、この人の言葉をそのまま使いながらひとり語りの作品に作り上げていく行為のことで、この行為には、自分からはずっと遠くにいる人に、自分が受け取った言葉を届けるという行為が伴います。あなたが受け取り、発した言葉の行方を考えながら、私たちがもつ「ことばの力」について考えていきます。ことばを使った仕事をした人、地域活性化に興味がある人、ことばを学ぶことが好きな人、どうぞ来てください。</p> <p>★この授業には宿題があります。また、全ての授業に出席することが前提です。申し込みの段階で欠席をしなければならないことがわかっている人は、申込みができません。</p> <p>★宿題をするときに、パソコンがないと作業が大変なので、宿題のために、家や高校でパソコンが使える方がいいです。授業ではパソコンを使う予定はありません。</p> <p>★第3回目は藤里町（予定）へフィールドワークに出かけていきます。この日は、往復の時間も含め1日かかりますので、予定をあけておいてください。</p>				
授 業 計 画					
《先着7名で募集を締め切ります》					
第1講：<6月6日（土）>（13：30～15：00）					
「ことばと市民性」					
秋田県藤里町で行われている聞き書きの活動を「市民性」という観点から分析していきます。また、聞き書きとは何かについても学んでいきます。 <宿題：ワークシートにインタビューで行う質問を100個書いてくる。>					
第2講：<6月7日（日）>（13：30～15：00）					
「聞き書き①」					
インタビューを行う際に用いる質問を整理しながら、新たな自分を発見していきます。相手に心を開いてもらうための自分の在り方についても、考えていきます。 ※6月6日の宿題を忘れずに持ってきてください。					
第3講：<6月21日（日）>（終日 藤里町フィールドワーク ★昼食を持参してください。）					
「聞き書き②」					
藤里町に行き、聞き書きを行います。また、藤里町で聞き書きの活動をコーディネートしている方の話も聞きます。この日は、全員午前9時15分秋田大学に集合し、一緒に電車・バスを利用して藤里へ向かいます（自宅が藤里町に近くても、集合は秋田大学となります）。17時半ごろに秋田駅解散の予定です。切符は当日集合してから、大学側が購入します。昼食は持参してください。 <u><宿題>聞いたものを書き起こす 提出物の締め切り：7月3日（担当教員にメール提出）</u> ※担当教員のメールアドレスは、1回目の授業でお知らせします。					
第4講：<7月5日（日）>（13：30～15：00）					
「聞き書き③」					
インタビューした人の言葉を他の誰かへ伝えるために、作品へと仕上げていきます。 <u><宿題>作品を完成させる 提出物の締め切り：7月15日（担当教員にメール提出）</u>					
第5講：<7月19日（日）>（13：30～15：00）					
「共同体の構成員をつなぐことば」					
それぞれが創った作品を味わいながら、私たちがことばを用いて行った行為が社会にどう影響するのかや、社会に対する自分自身の認識にどう影響するのかを考えていきます。					
テキスト	なし（プリントを配布します）				
参考文献	細川英雄 他（2016）『市民性形成とことばの教育：母語・第二言語・外国語を越えて』 ジーン・レイヴ 他（1993）『状況に埋め込まれた学習：正統的周辺参加』				
関連科目	社会、言語、地域貢献				
開講日時	6/6（土）	6/7（日）	6/21（日）	7/5（日）	7/19（日）
	13：30～15：00		終日	13：30～15：00	
会場	秋田大学 一般教養棟1号館2階 多文化交流ラウンジ		藤里町	秋田大学 一般教養棟1号館2階 多文化交流ラウンジ	
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9：00～17：00） 科目担当者E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp				

		大学等名		秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	宇宙プラズマ科学入門			科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 機械工学科 (職・氏名) 教授 杉本 尚哉
授業概要 宇宙にある物質の99%は、「プラズマ」状態にあると言われています。授業では、「プラズマとはどのようなものか」から始めて、プラズマの性質を基に宇宙で起こっている現象について説明していきます。					
授業方法 と留意点	基本的に予備知識無しであることを前提に授業を行います。 「プラズマ」などのキーワードについては、インターネットなどで眺める程度でもいいので自分で調べておいてほしいと思います。				
授 業 計 画					
< 6月4日 (木) > 第1講： 「「プラズマ」とは何か？」 <ul style="list-style-type: none"> ・物質を温め続けるとどうなる？ ・宇宙全体から見ると地球環境はかなり特殊！？ 					
< 6月11日 (木) > 第2講： 「太陽も星（恒星）もプラズマでできている」 <ul style="list-style-type: none"> ・「プラズマ」の塊・太陽 ・太陽から吹いてくるプラズマの風 ・オーロラもプラズマ現象 					
< 6月18日 (木) > 第3講： 「宇宙に漂うプラズマ」 <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙空間で輝いている雲の正体 ・なぜ色んな色で光って見えるのか？ 					
< 6月25日 (木) > 第4講： 「宇宙でみられるプラズマディスクとプラズマジェット」 <ul style="list-style-type: none"> ・プラズマでできたコンパクトディスク？ ・ある特定の方向にだけ流れ続けているプラズマ 					
この授業は、秋田県立大学 本荘キャンパスを会場に開講します。 住所：由利本荘市土谷字海老ノ口84-4					
テキスト	資料を配布します。				
参考文献	授業で紹介します。				
関連科目	物理学、数学				
開講日時	6/4 (木)	6/11 (木)	6/18 (木)	6/25 (木)	
	17:30~19:00				
会 場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階 事務室 授業会場：共通施設棟3階 K336				
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田県立大学	
科目名 (#タイトル)	AI・ロボット時代のメカトロニクス	科目担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 (職・氏名) 准教授 岡本 洋 他 (計5名)		
授業概要 メカトロニクスは、古くより自動化・産業用ロボットなどと深く関係している。今、AIなどの新技術の台頭でメカトロニクスをめぐる環境も大きく変化している。これを5名の講師陣が様々な視点から講義する。					
授業方法と留意点	オムニバス形式で行います。				
授 業 計 画					
< 6月5日 (金) >					
第1講： 「IoTシステムとサステイナビリティ」 准教授 山口 博之					
< 6月12日 (金) >					
第2講： 「AI・ロボットを支える無線通信技術」 准教授 戸花 照雄					
< 6月19日 (金) >					
第3講： 「有機フォトニクスが拓く新しい光センシング」 准教授 本間 道則					
< 6月26日 (金) >					
第4講： 「IoT時代のセキュリティと量子情報」 准教授 岡本 洋					
< 7月3日 (金) >					
第5講： 「いのちを守るロボット技術」 准教授 齋藤 敬					
テキスト	なし				
参考文献	なし				
関連科目	なし				
開講日時	6/5 (金)	6/12 (金)	6/19 (金)	6/26 (金)	7/3 (金)
	17:30~19:00				
会 場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp				

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	C言語プログラミング (ちょっと先取り、大学のプログラミング授業)	科目 担当者	(学部・学科) システム科学技術学部 情報工学科 (職・氏名) 准教授 廣田 千明 他 (計4名)
授業概要	パソコンやスマートフォンで動くアプリケーションはプログラミング言語でプログラムされています。本科目では代表的なプログラミング言語であるC言語を講義と実習により学習します。		
授業方法と留意点	実習を交えながら授業を進めます。 本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科必修科目「プログラミング I」の3回分の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば、本科目を単位取得予約型授業に切り替え、残りの12回の授業を受講することで単位を取得することが可能になります。 (※別途高校生科目等履修生としての手続きが必要となります)		
授 業 計 画			
< 6月6日 (土) >			
第1講：(13:30~15:00) 「プログラミング入門(1)」			
第2講：(15:15~16:45) 「プログラミング入門(2)」			
< 6月13日 (土) >			
第3講：(13:30~15:00) 「C言語の基本的規則(1)」			
第4講：(15:15~16:45) 「C言語の基本的規則(2)」			
< 6月20日 (土) >			
第5講：(13:30~15:00) 「簡単な計算・プリプロセッサ(1)」			
第6講：(15:15~16:45) 「簡単な計算・プリプロセッサ(2)」			
担当教員：准教授・廣田千明、准教授・渡邊貫治、助教・橋浦康一郎、助教・伊東嗣功 この授業は、秋田県立大学 本荘キャンパスを会場に開講します。 住所：由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 <u>※単位の取得については初回の授業で詳しく説明します。</u>			
テキスト	当日資料を配布します。		
参考文献	「Cの絵本」、アंक著、翔泳社		
関連科目	数学、情報		
開講日時	6/6 (土)	6/13 (土)	6/20 (土)
	13:30~16:45		
会 場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階 事務室 授業会場：学部棟I棟 GI417		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp		

		大学等名		秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	コンピュータ、役に立ちます (プログラミング, インターネット, 音響, ロボット制御)		科目担当者	〈学部・学科〉 システム科学技術学部 情報工学科 〈職・氏名〉 准教授 廣田 千明 (計4名)	
授業概要 私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的思考方や様々な技術の活用法を学びます。					
授業方法と留意点					
授 業 計 画					
< 6月2日 (火) >					
第1講: 「プログラミングを学ぼう」					
准教授 廣田 千明					
コンピュータを使いこなせるようになるためにプログラミングとはなにかを学びます					
< 6月9日 (火) >					
第2講: 「タブレット端末を使ったロボット制御」					
准教授 松下 慎也					
タブレット端末を使って「LEGO MINDSTORMS」と呼ばれるロボットの動きを制御します					
< 6月16日 (火) >					
第3講: 「音の仕組み, 音を作る (創る) には」					
准教授 渡邊 貫治					
音の物理的な側面, 感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です					
< 6月23日 (火) >					
第4講: 「パケットの中身のみてみよう」					
助 教 寺田 裕樹					
コンピュータを使ってデジタルデータのみてみます					
この授業は、秋田県立大学 本荘キャンパスを会場に開講します。 住所：由利本荘市土谷字海老ノ口84-4					
テキスト	当日資料を配布します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	数学、情報				
開講日時	6/2 (火)	6/9 (火)	6/16 (火)	6/23 (火)	
	17:30~19:00				
会 場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階 事務室 授業会場：共通施設棟3階 K336				
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp				

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	生物の不思議な世界 (生物の秘密をのぞいてみよう)	科目担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 生物生産科学科 (職・氏名) 准教授 阿部 誠 他 (計5名)
授業概要 私たちが何気なく見ている生物には、驚くべき秘密（不思議な世界）が隠されています。しかしこのことは高校の教科書には詳しく書いていません。皆さんが知らない生物の不思議な世界を、ちょっとのぞいてみませんか。			
授業方法と留意点	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。各授業終了前に簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。最終講（第6講）では授業全体の質疑応答に加えて、生物を理解する上で必要なことについて討論します。生物好き高校生はもちろん、理科全般に興味のある高校生の受講も期待しています。		
授 業 計 画			
< 6月14日（日） >			
第1講：（10：30～12：00） 「澱粉と糖の可能性－酵素を利用した食品・医薬への応用－」 助 教 鈴木 龍一郎 <u>※12：00～13：00 昼食時間（昼食を持参ください。）</u>			
第2講：（13：00～14：30） 「植物の一生と遺伝子プログラム」 准教授 渡辺 明夫			
第3講：（14：45～16：15） 「驚異の共生生物、地衣類」 准教授 原 光二郎			
< 6月21日（日） >			
第4講：（10：30～12：00） 「植物細胞の限らない可能性」 准教授 佐藤 奈美子 <u>※12：00～13：00 昼食時間（昼食を持参ください。）</u>			
第5講：（13：00～14：30） 「昆虫の謎」 准教授 阿部 誠			
第6講：（14：45～16：15） 「生物の秘密を解明するのに必要なこと」 准教授 阿部 誠			
テキスト	授業ごとに資料を配布します。		
参考文献	授業で紹介します。		
関連科目	生物資源科学、農学、生物生産科学、生物学（植物、遺伝、細胞、生理、酵素、澱粉、共生、地衣類、昆虫）		
開講日時	6 / 1 4 （日）		6 / 2 1 （日）
	10：30～16：15		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530（平日9：00～17：00） E-mail: akato@akita-pu.ac.jp		

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	高校で学ぶ生物はどこまで進んでいるか? (とても重要な生物のトピック)	科目 担当者	〈学部・学科〉 生物資源科学部 生物生産科学科 〈職・氏名〉 准教授 頼 泰樹 他 (計3名)
授業概要 高校で学ぶ生物と化学は、大学そして現在進行形の世界で何に繋がるのか。教科書では説明不足の重要なトピックについて、研究者でもある大学教員が解説するとともに、実際の研究もわかりやすく紹介します。			
授業方法と留意点 わかりにくい生物、化学のトピックについて高校の授業内容を踏まえ、その分野の研究をメインに行っている教員が実際の自分の研究をもとにわかりやすく解説します。			
授 業 計 画			
< 7月18日 (土) >			
第1講： (10:30~12:00) 「フェロモンの世界：生物と化学と私たちの生活」 化学・生物学分野 生物生産科学科 助教 野下 浩二 昆虫は環境から様々な化学物質を感知し生きています。フェロモンのように昆虫の行動を変化させる化学物質は、農林業での害虫対策に応用され、私たちの食生活にも繋がります。昆虫のフェロモン研究をいくつか紹介し、生物を理解する上で化学を学ぶことの意義もお伝えしたいと思います。			
<u>※12:00~13:00 昼食時間 (昼食を持参ください。)</u>			
第2講： (13:00~14:30) 「元素を光で測る」 化学分野 生物生産科学科 准教授 頼 泰樹 人類が最も得意なのは電気と光を使うことです。りあかーなき・・・と覚えた炎色反応、実は元素がその元素であるという性質を表しています。ある元素がその元素であるとはどういうことかについてなるほど納得の解説をしたいと思います。			
第3講： (15:00~16:30) 「砂漠化と生物・化学」 化学・生物学分野 生物環境科学科 准教授 石川 祐一 地球環境問題の一つである砂漠化によって土地の生産性は低下してしまいます。この現象にも生物・化学の知識が深く関わっています。そもそも土とは何なのかから解説し、環境問題と生物や化学との関わりについて皆さんと学んでいきたいと思っています。			
この授業は、秋田県立農業科学館を会場に開講します。 住所：大仙市内小友字中沢171-4			
<u>※当日は、大曲駅⇄農業科学館で送迎バスを運行します (時間については別途ご案内します)</u>			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎講義配布します。		
参考文献	講義の中で紹介します。		
関連科目	基礎生物および基礎化学、生物および化学		
開講日時	7/18 (土)		
	10:30~16:30		
会場	秋田県立農業科学館 電話：0187-68-2300		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530 (平日9:00~17:00) E-mail: akato@akita-pu.ac.jp		

		大学等名		秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)		科目 担当者	〈学部・学科〉生物資源科学部 応用生物科学科 〈職・氏名〉教授 村田 純 他 (計5名)	
授業概要 高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。					
授業方法と留意点 授業はオムニバス形式で行います。 プリントを配布し、それに従って話を進めます。					
授 業 計 画					
< 7月11日 (土) >					
第1講： (13:30~15:00)					
「応用生物科学科の研究紹介」					
教授 村田 純					
本学科の構成と、学科で行われている研究を紹介しします (第2講以降の研究紹介は除く)。					
第2講： (15:15~16:45)					
「植物ってすごい！」					
准教授 岩崎 郁子					
太古の地球は火星のようだった。植物は地球を変えた。 ～人類は今、植物に学んで《人工光合成》にチャレンジ中！～					
< 7月25日 (土) >					
第3講： (13:30~15:00)					
「食品の品質と美味しさの科学」					
准教授 張 函					
食品の品質評価の重要性および食べ物の美味しさに関わる要因について紹介しします。					
第4講： (15:15~16:45)					
「生物の発生と疾病に関わる遺伝子について」					
助教 岩下 淳					
脊椎動物の初期発生や再生、疾病に関わる遺伝子の情報伝達について紹介しします。					
< 8月1日 (土) >					
第5講： (13:30~15:00)					
「D-アミノ酸のバイオケミストリー」					
助教 牟田口 祐太					
医療・美容・食品業界で近年注目されているD-アミノ酸。その基本と最新研究を紹介しします。					
テキスト	授業毎に資料を配布する。				
参考文献	特になし				
関連科目	科学、生物				
開講日時	7/11 (土)		7/25 (土)		8/1 (土)
	13:30~16:45			13:30~15:00	
会場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530 (平日9:00~17:00) E-mail: akato@akita-pu.ac.jp				

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	おもしろ生物学 ここだけのはなし (生き物の不思議を科学する)	科目 担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 アグリビジネス学科 (職・氏名) 准教授 永澤 信洋 他 (計4名)
授業概要	大学では机上の勉強だけでなく、研究を通じて新しい発見をすることができます。この授業では、教科書には詳しく書かれていない生物学のおもしろい話題について、県立大学教員の研究なども交えて紹介します。		
授業方法 と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。生物学に興味がある生徒はもちろん、そうでない生徒の受講も歓迎します。		
授 業 計 画			
< 7月11日 (土) >			
第1講： (9:30~11:00)			
「細胞の中でおこる不思議な現象」			
生物生産科学科 准教授 上田 健治			
性染色体やオートファジーの役割について紹介します。			
第2講： (11:10~12:40)			
「植物ってすごい！」			
応用生物科学科 准教授 岩崎 郁子			
太古の地球は火星のようだった。植物は地球を変えた。 ～人類は今、植物に学んで《人工光合成》にチャレンジ中！～			
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)			
第3講： (13:20~14:50)			
「生き物の形を作る遺伝子の話」			
アグリビジネス学科 准教授 永澤 信洋			
生き物、特に植物の形態（ボディプラン）を決める遺伝子がどのようにして発見されてきたか？ 主に花の発生について紹介します。			
第4講： (15:00~16:30)			
「いきものの進化のしくみ」			
生物生産科学科 准教授 佐藤（永澤）奈美子			
進化のしくみについては、どんなことがわかってきているのか？現在進行中の研究を交えながら、 お話したいと思います。			
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物学		
開講日時	7/11 (土)		
	9:30~16:30		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530 (平日9:00~17:00) E-mail: akato@akita-pu.ac.jp		

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (#タイトル)	生物環境科学への招待 (ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめる フィールドに密着した科学)	科目 担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 生物環境科学科 (職・氏名) 准教授 井上 誠 他 (計3名)
授業概要 秋田の身近な地域から地球規模に広がる自然環境や生物資源の問題をフィールドに密着しながら発見し、生物資源の人間生活（農林業など）への活用と保全、自然環境の修復と再生などに取り組む生物環境科学を紹介します。			
授業方法 と留意点	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。		
授 業 計 画			
< 7月5日 (日) >			
第1講： (9:30~11:00) 「生物環境科学がめざす持続可能な社会」 教授 長濱 健一郎			
第2講： (11:10~12:40) 「農業と環境 ー外部効果についてー」 教授 長濱 健一郎			
<u>※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)</u>			
第3講： (13:20~14:50) 「秋田の身近な気象と温室効果ガスに関する話」 准教授 井上 誠			
第4講： (15:00~16:30) 「身近な世界規模の環境問題 ー八郎湖のアオコ問題についてー」 助教 岡野 邦宏			
テキスト	なし		
参考文献	特になし		
関連科目	高校理科(特に、生物・生物基礎、化学・化学基礎)、地域社会、数学		
開講日時	7/5 (日) 9:30~16:30		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530 (平日9:00~17:00) E-mail: akato@akita-pu.ac.jp		

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	高校生のためのアグリビジネス入門 (明日の農業を考える)	科目担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 アグリビジネス学科 (職・氏名) 教授 岡田 直樹 他(計4名)
授業概要 私たちが生きるうえで、農業はなくてはなりません。そして、農業のあり方は、時代とともに変わっていきます。本講座では、最新の技術開発について学び、農業・アグリビジネスの未来について考えます。			
授業方法と留意点	具体的な事例を多く用いながら、専門的なことがらでも、わかり易く講義します。		
授 業 計 画			
< 6月21日(日) >			
第1講： (9:30~11:00)			
「アイカメラで『見える化』する農業の未来」			
准教授 上田 賢悦			
視点の動きが分かるアイカメラで、ベテラン農業者の栽培ノウハウを探る、消費者の行動を理解する。農業生産やマーケティングにおける『見える化』の最新研究を紹介します。			
第2講： (11:10~12:40)			
「未来のお米は？」			
准教授 永澤 信洋			
東北で栽培されているお米の品種や良食味米の品種改良の現状についてお話しします。ついで、これからのお米の新しい品種改良とその可能性についてお話しします。			
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)			
第3講： (13:20~14:50)			
「未来のリンゴ栽培」			
准教授 北本 尚子			
リンゴ栽培における機械化・省力化への取り組みについて、収穫ロボットや新品種の育成など最新の研究・開発動向を紹介します。			
第4講： (15:00~16:30)			
「アグリビジネスを学ぶこと -農業の未来を考えよう！-			
教 授 岡田 直樹			
アグリビジネスって何？アグリビジネスを学ぶことは、なぜ大切なの？世界の直面する状況を知り、新しい農業の世界を秋田から発信していきましょう！			
テキスト	講義内容をまとめたテキストを配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物学、作物学、果樹栽培学、農業経営学、社会経済論、グリーンライフ		
開講日時	6/21(日)		
	9:30~16:30		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1530 (平日9:00~17:00) E-mail: akato@akita-pu.ac.jp		

		大学等名	国際教養大学	
科目名 (サブタイトル)	国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目 担当者	〈学部・学科〉 国際教養学部 (職・氏名) 助教 Carlos BUDDING 他 (計5名)	
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問」がいかに楽しいか、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきかなどを、国際教養大学の教員がそれぞれの専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。			
授業方法 と留意点	授業は、日本語または英語で行われます。演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備は必要ありません。			
授 業 計 画				
< 6月14日 (日) >				
第1講： (13:20~14:50) 「An Introduction to American Sign Language (ASL)」 助教 カルロス・パディング (Carlos BUDDING)				
In this class, students will learn some basic non-verbal communication strategies that are common with American Sign Language (ASL) users. This class hopes to give students basic knowledge to communicate without using spoken words. Furthermore, students will be exposed to differences with ASL and Japanese Sign Language (JSL). This class will be taught in typical ASL pedagogy – the class will be taught in silence. (講義は英語で行います)				
< 6月14日 (日) >				
第2講： (15:00~16:30) 「 Games and Life - Mathematics Makes Things Easy」 准教授 アティラ・エグリナギ (Attila EGRI-NAGY)				
Good games, like Chess and Go, stayed with humanity for many centuries. They represent an aspect of the real world, therefore training in games can improve other life skills, like planning and decision making. Artificial Intelligence also used games as stepping stones before attacking real world problems. Mathematics unravels the complexities of games, therefore by learning mathematics in a playful way we can develop cognitive tools for understanding our world better. This class will present game based puzzles and show how an abstract, mathematical representation makes the puzzles straightforward to solve. We will demonstrate that Mathematics makes things easy. (講義は英語で行います)				
< 6月21日 (日) >				
第3講： (13:20~14:50) 「 Fake News: What is it, and why is it important?」 准教授 フローラン・ドメナック (Florent DOMENACH)				
What is real news? Fake news? How to make the difference? What are the characteristics of fake news? We will examine the new prevalence of this phenomenon, and inquire how fake news are created, and how they spread. We will investigate different countries answers to protect the democratic process. (講義は英語で行います)				
< 7月5日 (日) >				
第4講： (13:20~14:50) 「 A first step to understanding mass media 」 准教授 キ・ドゥク・ヒョン (Ki Deuk HYUN)				
We spend much time consuming mass media, like news, dramas, movies, advertisement, and others. Our continuous media use influences the way we think about the world and about ourselves, and therefore, it becomes necessary to develop the ability to understand, analyze, and evaluate mass media. This lecture will introduce some basic concepts like purposes and target audience of different mass media to help students make sense of their media experience. (講義は英語で行います)				
< 7月5日 (日) >				
第5講： (15:00~16:30) 「 Will the Japanese traditional culture die out?」 准教授 千葉 加恵子				
This class will examine the current issues of the Japanese traditional culture and think with students that what we should do to keep this tradition for the future. The students will learn some historical background of the traditional culture including Iemoto system and will discuss with the group that future possibility for the traditional culture. (講義は英語で行います)				
テキスト	特になし (担当教員が各講義において、資料を配布することがある。)			
参考文献	関連科目			
開講日時	6/14 (日)		6/21 (日)	
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50	13:20~14:50 15:00~16:30
会場	カレッジプラザ (講堂)			
欠席連絡先	国際教養大学 電話:018-886-5904/5905 (平日9:00~17:00) E-mail:cos@aiu.ac.jp			

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	現代経済学の基礎 (「私」の問題)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要 皆さんは、生まれて、学んで、そして、今後働くことになるでしょう。これまであまり考えたことがないかもしれませんが、そもそも生きている「私(=自分)って何?」という素朴な疑問を、一緒に考えてみませんか。			
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
<u>< 6月2日 (火) ></u> 第1講： 「私って何? 本当の私って?」 自分のことを「私」と言いますが、「私」っていったい何なのでしょう。自分の顔をじかに見ることはできるのでしょうか。ありのままの自分とは一体どういうことを意味しているのでしょうか。			
<u>< 6月9日 (火) ></u> 第2講： 「未知と既知」 知らなかったことを知った時の喜びや新鮮な感じと、既に知っていると思っていることがよく分かっていないという「知」の曖昧さを実感してみましょう。			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	6/2 (火)		6/9 (火)
	17:30~19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	現代経済学の基礎 (「時間」の問題)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要 遊んでいると時間はあっという間に過ぎ去ったように感じ、苦手な教科を勉強したり、働いているときは時間が長く感じませんか。そこには、「時間とは何か」という難問が潜んでいます。その「時間」を、あらためて考えてみましょう。			
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
<u>< 6月4日 (木) ></u> 第1講： 「「時間」はどこにあるのでしょうか？」 昨日の自分はどこへ行ってしまったのでしょうか。明日の自分はどこから来るのでしょうか。そもそも、過去・現在・未来とはどういうことを意味しているのでしょうか。			
<u>< 6月11日 (木) ></u> 第2講： 「どんなことにも必ず原因がある！」 「喧嘩が原因で、友達と連絡がとれない。」「おなかが痛い！昨夜冷たいものを食べすぎたからなあ。」出来事（＝結果）には、必ず原因があると考えられますが、果たして、その原因で正しいのでしょうか。			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	6/4 (木)		6/11 (木)
	17:30～19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	現代経済学の基礎 (「心」の問題)	科目 担当者	〈学部・学科〉 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要	「心」、「愛」や「労働」は見えないものですが（「心づかい」、「愛の形」や「労働の成果」、「働く姿」は見えますが）、「見えないもの」が「ある」とはどういうことなのでしょう。一緒に考えてみましょう。		
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
<p>< 6月16日（火） ></p> <p>第1講：</p> <p>「「心」はどこにあるのでしょうか？」</p> <p>私（=自分）には「心」があるのでしょうか。あるとしたならば、どこに・どのようにあるのでしょうか。はたして、他人には「心」はあるのでしょうか。</p> <p>< 6月23日（火） ></p> <p>第2講：</p> <p>「「感じる」ことと「考えること」の違いを考えてみましょう」</p> <p>「暑いね!」、「本当に暑いね!」。2人の会話の「暑い」は、同じことを意味しているのでしょうか。他人と自分の感覚が同じであると、証明するすべは何なのでしょう。 「見たり、聞いたり、触ったり」という「感覚」と、「考える」という働きの違いをはっきりと分けてみましょう。</p>			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	6/16（火）		6/23（火）
	17:30～19:00		
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00～17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	現代経済学の基礎 (「自由」とは何か)	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要 人間の「ふるまい」を「効用」という視点からとらえ、経済学に結び付けて考えた説があるように、われわれの経済活動の源には、人間の「ふるまい」があります。その「ふるまい」には「自由」があるのでしょうか。そもそも「自由」とは何なのでしょう。			
授業方法と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
< 6月18日 (木) >			
第1講： 「高校生にもなって・・・」とはどういう意味？ （「事実」と「価値」の問題） 親から「高校生にもなって、まだそんなことをして！」と言われたことはありませんか。高校生だから、やってはいけないということは、そもそもどういうことを意味しているのでしょうか。			
< 6月25日 (木) >			
第2講： 「やっていいこと、わるいこと」 （「行為の善悪」の問題） 生まれてこのかた、うそをついたことのない人はいるのでしょうか。うそをついてはいけないはずなのに、なぜついてしまうのでしょうか。では、うそをついていいのでしょうか。また、大人になるということはどういうことなのでしょう。また、なぜ大人にならなければいけないのでしょうか。			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	6/18 (木)		6/25 (木)
	17:30~19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	現代経済学の基礎 (生きるとは)		科目 担当者
			(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 西巻 丈児
授業概要	生きることの根源とされる「いのち」に価値や値段がつけられ、市場経済に巻き込まれている現状があります。この「いのち」を考えることによって、「生きる」とはどういうことなのかを考えてみましょう。		
授業方法と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
<u>< 7月2日 (木) ></u>			
第1講： 「いのちの価値とは？」 害虫を殺すのに、人間を・・・！なぜ？いのちを比べることはできるのでしょうか。いのちに値段を付けることはできるのでしょうか。つねに私たちの身近にある生と死についての諸問題を、「自分の問題」として考えてみましょう。			
<u>< 7月9日 (木) ></u>			
第2講： 「「私」は幸せになれるのでしょうか？」 「私」が、どうしたら「人間」らしく、よく生きることができるのかを一緒に考えてみましょう。また、自分のみならず、他者の「幸福」についても見据えて生きることはどういうことなのかも、一緒に考えてみましょう。			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学、経済学		
開講日時	7/2 (木)		7/9 (木)
	17:30~19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	社会保険とは (その常識・非常識)		科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 藤本 剛
授業概要 少子・高齢化が急速に進行する中で、年金や医療・介護などのシステムは若者にとって大きな不安・不信材料となっています。そのシステムのベースとなっているのが社会保険。古くは“ビスマルクの社会保険”に始まったこの制度は今では各国に広まり、様々な形で展開されています。わが国の制度はどうか。常識として捉えられていること、捉えられていないことなど、共に考えてみましょう。				
授業方法 と留意点				
授 業 計 画				
< 6月3日(水) > 第1講： 「社会保険とは？」 「その歴史的展開」 「ベヴァリッジノのイギリスから各国へ」 「わが国への導入と制度の発展」				
< 6月10日(水) > 第2講： 「国民皆年金と制度改革の流れ」 「制度一元化への取り組みと課題」 「年金とリンクする様々な制度」				
< 6月17日(水) > 第3講： 「国民皆保険と制度改革の流れ」 「医療保険制度をめぐるそれぞれの立場」 「介護保険制度の導入」 「地域包括ケアシステム」				
テキスト	特に指定はしません。授業時にプリント配布などを行います。			
参考文献	各年版の『厚生労働白書』、『保険と年金の動向』、『国民の福祉と介護の動向』			
関連科目	社会政策論、社会保障論、社会福祉学、労働経済論			
開講日時	6/3(水)	6/10(水)	6/17(水)	
	17:30~19:00			
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	国際教養の基本 (国連等勤務を踏まえて)		科目担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 坂元 浩一
授業概要 世界規模での国際教養の内容を、教員の次の経験を踏まえて説明する。国連勤務（アフリカ駐在）、他の国際機関勤務（インド政府、東京の国際シンクタンク）、フランス・パリなどでのインタビュー、63か国を166回訪問。				
授業方法と留意点	担当教員がこれまで実施した講演・講義（慶応義塾大学、東洋大学、浜松大学、上海外国語大学、日本政府招聘外国人官僚研修）を基に説明する。 英語や易しい他言語（仏語、西語）も使用			
授 業 計 画				
専門分野は、途上国を対象とした国際協力論と、先進国を含む国際経済論である。後者は広義の国際協力論であり、外国投資を特に取り上げる。訪問した国や都市の地図を使った説明も行う。				
< 6月5日(金) >				
第1講： 「国際機関に勤務するには」 東京、中国の上海における大学院生、大学生を対象とした講義				
< 6月12日(金) >				
第2講： 「国際協力の実際」 東京における日本政府招聘官僚研修講師として、東南アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、東ヨーロッパからの経済・財政担当官僚に対して、講演・指導。また、日本政府および地方政府の官僚の研修も担当した				
< 8月21日(金) >				
第3講： 「国際ビジネス、マーケティングの実際 [大学での講義、パリなど現地での調査]」 事例として、ブランド大国フランスの首都パリ。高級チョコレート『マリーアントワネットのピストル』、『ロレーヌの真珠』など具体的な商品を題材として取り上げる				
< 8月28日(金) >				
第4講： 「国際ビジネス、マーケティングの実際 [大学での講義、現地での調査]」 ロンドン、マドリード、ウィーン、東南アジア、東京など				
テキスト	講義資料を配布します。			
参考文献	講義の中で、適時紹介します。			
関連科目	国際経済学、国際協力論、外国（海外）投資論、フランス語、スペイン語			
開講日時	6/5 (金)	6/12 (金)	8/21 (金)	8/28 (金)
	17:30~19:00			
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	インターネットが学校に代わる？ (『脱学校の社会』から)	科目 担当者	〈学部・学科〉 経済学部 経済学科 (職・氏名) 准教授 市原 光匡
授業概要 情報化の進展に伴い、知識や技術を獲得する場は学校だけではなくなっています。こうしたなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。			
授業方法と留意点 基本的には講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布し、それに沿って授業を進めていきますが、参加者のみなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、自分なりに考えておいていただきたいと思います。			
授 業 計 画			
< 6月9日 (火) >			
第1講：			
「教育病理と脱学校論」			
学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。			
< 6月16日 (火) >			
第2講：			
「なぜ学校は必要なのか？」			
イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。			
テキスト	特に必要ありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』 [The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳 東京創元社1977		
関連科目	現代社会		
開講日時	6/9 (火)		6/16 (火)
	17:30~19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	歴史を動かす簿記・会計について	科目 担当者	(学部・学科) 経済学部 経済学科 (職・氏名) 教授 國井 法夫	
<p>授業概要 経済の中心に「お金」があります。これは我々が普段、何げなく使っているものです。でもこれがなければ、その日その日の生活ができないのも事実です。また、現代社会や政治経済で学ぶGDPを表す数値もお金です。このお金の働きを正確にとらえ、我々がどう生きていけばよいのかを教えてくださいの道具が「簿記・会計」です。この「簿記・会計」が我々人間の歴史(世界史・日本史)にどうかかわってきたのかを4回に分けて考えていきます。</p>				
授業方法 と留意点	プリントを配布するとともに、板書と話で授業を進めてまいります。			
授 業 計 画				
<u>< 7月3日 (金) ></u>				
第1講：(17:30~19:00)				
「イタリアの商業都市の商人及び江戸時代の商人と簿記・会計」				
複式簿記が世界で初めて行われたのは14世紀のイタリアの商業都市においてだと言われています。一方、日本においても江戸時代には豪商が出現します。当時、日本の豪商はどのような方法でお金の動きを把握していたのか。				
<u>< 7月10日 (金) ></u>				
第2講：(17:30~19:00)				
「オランダ東インド会社と簿記・会計」				
世界で最初の株式会社はオランダ東インド会社(1602年)と言われています。株式会社の最大の特徴は有限責任制と配当です。この株式会社においても複式簿記が採用されたと言われています。				
<u>< 8月7日 (金) ></u>				
第3講：(10:30~12:00)				
「産業革命・鉄道事業と簿記・会計」				
産業革命は資本主義の発展をもたらしました。そのなかで簿記・会計はどのような機能を要求され、どのように変化していったのか。その後、簿記・会計はアメリカにわたり、一般企業・鉄道会社等において飛躍的な発展を遂げることになります。また、日本においては明治6年福沢諭吉の「帳合之法」・アラン・シャンド「銀行簿記精法」等により複式簿記が導入されることになる。				
テキスト	プリント			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	日本史、世界史、簿記、会計			
開講日時	7/3 (金)	7/10 (金)	8/7 (金)	
	17:30~19:00		10:30~12:00	
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話：018-836-1326 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	自分を守り、誰かを守る心理学 (安全に暮らし、命を助けるために)	科目	〈学部・学科〉 法学部 法律学科	
		担当者	(職・氏名) 准教授 瀧澤 純	
授業概要 変な人に会ったり、怖い思いをしたり、事故や災害で困ったりしたことはありませんか。この授業では、自分のためにも、人を支えるためにも、世の中にあるトラブルを理解しましょう。				
授業方法と留意点	2019年度前期の「法心理学でトラブル解決！」の一部を変更した授業です。真剣に、ときに明るく講義や演習を行いましょう。筆記用具を持参してください。			
授 業 計 画				
<u>< 6月3日 (水) ></u>				
第1講： 「サイコパスから身を守る」 よくあるサイコパス診断は間違っています。心理学による本物のサイコパステストを行いましょう。動物、ロボット、2次元キャラを題材に、心や命、権利や犯罪について考えます。				
<u>< 6月10日 (水) ></u>				
第2講： 「攻撃から身を守る」 暴力、いじめ、差別はどこで起こるかわかりません。恋愛関係の暴力、子どもやペットへの糞と虐待、暴力的な映像の影響、体罰の基準、いじめの構造、差別と逆差別などを学びます。				
<u>< 6月17日 (水) ></u>				
第3講： 「ミスコミュニケーションから身を守る」 誤解はケンカを生み、ときには裁判沙汰の原因にもなり、医療事故や航空機事故をも引き起こします。絵やジェスチャーで表現する実験をしながら、誤解の心理を理解しましょう。				
<u>< 6月24日 (水) ></u>				
第4講： 「災害から身を守る」 災害に関するクイズに挑戦しながら、避難や救助、噂への対処、メディアや報道のあり方、法令について学びます。災害を知って、自分や誰かの命を救える人になってください。				
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。			
参考文献	授業中に紹介します。			
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、犯罪心理学、法心理学、認知科学、憲法、民法、刑法、刑事政策			
開講日時	6/3 (水)	6/10 (水)	6/17 (水)	6/24 (水)
	17:30~19:00			
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	心理学で人狼ゲームを分析しよう (会話型推理ゲームの人間心理)	科目	(学部・学科) 法学部 法律学科
		担当者	(職・氏名) 准教授 瀧澤 純
授業概要 人狼やトランプなどのアナログゲームには、推論、判断、感情のやりとり、駆け引きなどの心理学が関係します。これらを学び、接客、対人ケア、勝負事、トラブル回避など、普段の生活へ応用することを目指します。			
授業方法と留意点	瀧澤のゼミで行っている研究を授業にしました。全ての回が、ゲームのルール説明、ゲームの実施、心理学的な知見の紹介、ゲームの再実施という順で行われます。そのため、事前の学習は必要ありません。		
授 業 計 画			
< 7月28日 (火) >			
第1講：(13:20~14:50)			
「『20の質問』と意味のつながり」			
20回の質問を終えるまでに、相手が思い浮かべた単語を当てるゲームです。認知心理学における「概念形成」が関連します。ゲームの順番決めなどで必須となる、じゃんけんの講義も行います。			
第2講：(15:00~16:30)			
「『セリフ伝達ゲーム』と表情の読み取り」			
1人がセリフを伝えて、残りの人がそのセリフのニュアンスを当てます。伝える人の演技力と、当てる人の対人能力がカギです。社会心理学における「感情の伝達」が関連します。			
< 7月31日 (金) >			
第3講：(13:20~14:50)			
「『ワンナイト人狼』と嘘発見」			
人狼役の方は、人狼であることがバレないようにします。それ以外の役の方は、会話などから人狼を見つけます。犯罪心理学における「嘘の検出」が関連します。			
第4講：(15:00~16:30)			
「『NGワードゲーム』と交渉術」			
人それぞれのNGワードを設定した状態で、他の人にNGワードを言わせるゲームです。社会心理学における「説得」と、第1講から第3講までの全ての要素が関連します。			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、認知心理学、社会心理学、犯罪心理学、刑法、刑事政策		
開講日時	7/28(火)		7/31(金)
	13:20~16:30		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	世界史と法学 (欧米の歴史から国のあり方を問う)	科目担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 教授 佐藤 寛稔	
授業概要 法学、政治学、社会学において、国の成り立ちや歴史的な経緯を知ることは必須です。この授業では、近代市民革命期から現代までの歴史をふまえつつ、人間と権力のあるべき姿、人の共生について検討します。				
授業方法と留意点	法や政治のさまざまな側面を扱います。中でも、国の成り立ちとの関りが最も深い、「憲法」を思考の軸とします。時事的な話題も取り上げます。新聞やテレビのニュースをよく見ておいてください。			
授 業 計 画				
< 6月18日 (木) >				
第1講： 「権利が欲しい、あの革命」 フランス革命以前の中世ヨーロッパでは、国王、貴族、ギルド（職能団体）が力を持っていました。ルイ16世とマリー・アントワネットの処刑と人権宣言による、世界の変化を解説します。				
< 6月25日 (木) >				
第2講： 「平等にしたい、この世界」 世の中の「平等」が、本当の意味で平等といえるのかを、クイズ形式で問います。さらに、アメリカ独立宣言、奴隷制度、人種差別など歴史から、多様化が進む現代を見直しましょう。				
< 7月2日 (木) >				
第3講： 「ストップしたい、その表現」 いたずら動画、人を傷つける表現、わいせつ表現などが「ダメ」と言われるのはなぜでしょうか。世界恐慌や植民地政策をふまえつつ、現代のSNSにおける表現の自由についても考えましょう。				
< 7月9日 (木) >				
第4講： 「ぶつつぶしたい、その法律」 国の代表者が作った法律を、裁判官がなぜ無効にできるのでしょうか。イギリス、フランス、ドイツ、アメリカの歴史や民主主義の思想から、議会と司法の関係を国際的な視点で学びましょう。				
テキスト	特になし。			
参考文献	授業中に資料を配布します。			
関連科目	世界史、日本史、現代社会、倫理、政治・経済、法学、政治学、社会学			
開講日時	6/18 (木)	6/25 (木)	7/2 (木)	7/9 (木)
	17:30~19:00			
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	裁判所のアップデート (裁判所はどう変わっていくか)	科目担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 准教授 川口 誠
授業概要 社会の変化に、裁判所はどのように対応しているのでしょうか。今回は、裁判のICT化（民事関係）と、裁判所の施設の「バリアフリー化」について採りあげます。			
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、それに従って説明します。社会のセーフティネットとして重要な機能を果たしている裁判所にぜひ関心をもって、参加してください。		
授 業 計 画			
< 6月19日（金） >			
第1講：			
「裁判のICT化（民事関係）」			
今年2月から、各地の裁判所で、民事裁判のICT化が一部先行試験的に実施されます。			
< 6月26日（金） >			
第2講：			
「裁判所のバリアフリー化の状況」			
公共施設である裁判所のバリアフリー化は、どの程度まで整備が進んでいるのでしょうか。			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	現代社会、政治・経済		
開講日時	6/19(金)		6/26(金)
	17:30~19:00		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	制定過程から 日本国憲法を考えてみよう	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 教授 渡部 毅	
授業概要 日本国憲法は明治憲法を改正して昭和21年に制定されましたが、その過程は国の基本法を決める観点からすると不適切だったのではないかという批判があります。歴史的事実や法的視点を踏まえ、その是非を考えます。				
授業方法 と留意点	プリント資料等を配布してお話をします。制定過程が適切だったのか不適切だったのかについては、どちらの意見もありえます。授業中に提示する歴史的事実や法的な考え方を踏まえて皆さんなりに考えていただき、自分の意見を持ってもらうことが目標です。			
授 業 計 画				
< 6月23日 (火) >				
第1講： 「憲法とはどのような法でしょう？」 一般に「憲法」と呼ばれている法の特徴や内容について説明をします。日本で最初の憲法である、明治憲法の内容や運用状況について説明します。				
< 6月30日 (火) >				
第2講： 「明治憲法から日本国憲法へ」 明治憲法から日本国憲法へ改正が行われた事情や改正過程について説明します。太平洋戦争とその敗戦を契機とした日本国憲法制定過程について、歴史的事実を中心に解説します。				
< 7月7日 (火) >				
第3講： 「日本国憲法の正当化と正統性 ～日本国憲法が制定された過程に指摘される問題点と法的評価～」 第1講で学習した憲法という法の特徴や、第2講で学習した日本国憲法が制定された過程の知識を踏まえ、今の憲法に指摘される問題点と、それを克服する考え方について説明します。そのうえで、日本国憲法は正しくない憲法なのかどうかについて、皆さんに考えていただきます。				
テキスト	講義内容に関連するプリントや資料を配布します。			
参考文献	必要に応じ、授業中に紹介します。			
関連科目	日本史、現代社会、政治・経済、法律			
開講日時	6/23(火)	6/30(火)	7/7(火)	
	17:30～19:00			
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326 (平日9:00～17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	高校生の刑法入門 (社会問題の解決に刑法はどうあるべきか)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 准教授 秋山 栄一
授業概要	某自動車会社の元会長の汚職や海外逃亡、障害者に対する集団殺人など、ここ何年かでも多くの事件が報道されています。今回は2回にわたり、刑法がそういった社会問題にどのように対処しているのかを考えていきます。		
授業方法 と留意点	事前の予習は、特に指示のない限り必要ありません。ノートと筆記用具を持参してください。		
授 業 計 画			
＜7月16日（木）＞			
第1講：（17：30～19：00）			
「高校生の刑法入門①～皆さんの意識と刑法～」			
社会問題の解決を目指すものには、法律を含め様々なものがありますが、法律、その中でも特に刑法にはどういった特徴があるのでしょうか。考えを進めていくと皆さんがこれまでもっている法、特に刑法のイメージと異なる面があるかもしれません。第1講では、その点を中心に考えて行きます。			
＜7月30日（木）＞			
第2講：（15：30～17：00）			
「高校生の刑法入門②～社会の問題と刑法～」			
第1講で考えた点を踏まえ、刑法は実際の事件に対してどう対処しているのでしょうか。少しだけお話しすると、刑法は、ただ「けしからん、許せない」という感情のみで、有罪を決定し処罰することは決してありません。それはなぜか。具体例を手掛かりに考えていきます。これから皆さんが、マスコミの報道や時事問題などを考えるときの手助けになればと考えています。			
テキスト	適宜、プリントを配布します。		
参考文献	特になし		
関連科目	政治・経済、現代社会など社会科関係科目、法学関係科目		
開講日時	7/16（木）		7/30（木）
	17：30～19：00		15：30～17：00
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学		
	電話：018-836-1326（平日9：00～17：00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	高校生のための安全保障学入門 (時事問題から国際社会を考える)	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 法律学科 (職・氏名) 准教授 佐藤 克枝
授業概要 安全保障について学ぶ入門編です。国際法の基本事項をおさえた上で、時事問題を検討しながら、これからの日本の安全保障のあり方についても一緒に考えていきましょう。			
授業方法 と留意点	プリントを配布して、それに沿って授業を進めます。毎回、受講者の意見を訊いていきますので積極的に参加してください。		
授 業 計 画			
<p>< 8月4日 (火) ></p> <p>第1講：(13:30~15:00) 「イスラム国は『国』か？」 国際社会の基本単位である国とは何か、また、国際社会での国家の責任について考えます。</p> <p>第2講：(15:15~16:45) 「地図の見方を変えてみる」 今までと違う視点から日本を見ながら、近隣国との関係について考えます。</p> <p>< 8月5日 (水) ></p> <p>第3講：(13:30~15:00) 「トランプが切ったカードは何か？」 アメリカを中心に外交政策について考えます。</p> <p>第4講：(15:15~16:45) 「日本を取り巻く安全保障問題とは」 領土問題、領有権問題などが生じた背景を確認し、日本の安全保障にかかわる問題を検討します。</p>			
テキスト	講義内容をまとめた資料を配布します。		
参考文献	適宜、授業の中で紹介します。		
関連科目	公民（現代社会、政治・経済）、地理、国際法、国際政治学、国際関係論		
開講日時	8/4(火)		8/5(水)
	13:30~16:45		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	高校生のための医事法入門 (生命倫理、遺伝子、医療事故)	科目 担当者	(学部・学科) 法学部 法律学科 (職・氏名) 助教 岡崎 頌平
授業概要 医事法は、私たちの生活に欠かすことのできない医療と法に関する領域を対象とする学問です。本科目では、そのうちのいくつかのトピックを取り上げて、一緒に考えていくことにしましょう。			
授業方法 と留意点	毎回、プリントを配布して、それに沿って授業を進めていきます。なお、毎回、トピックは2つずつ取り上げていく予定です。		
授 業 計 画			
< 8月6日 (木) >			
第1講：(13:30~15:00) 「医療事故と医療過誤」 医療事故・医療過誤と法的責任（民事・刑事）について考えます。			
第2講：(15:15~16:45) 「人工妊娠中絶 / 生殖補助医療」 人工妊娠中絶、生殖補助医療技術の発展に関する問題について考えます。			
< 8月7日 (金) >			
第3講：(13:30~15:00) 「再生医療 / 遺伝をめぐる医療」 クローン技術、遺伝情報に関する問題について考えます。			
第4講：(15:15~16:45) 「臓器移植 / 小児医療」 脳死問題、子どもと医療に関する問題について考えます。			
テキスト	講義内容についてのプリントを毎回配布します。		
参考文献	甲斐克則編『ブリッジブック 医事法[第2版]』（信山社・2018） 2,600円+税		
関連科目	現代社会、倫理、生物		
開講日時	8/6 (木)		8/7 (金)
	13:30~16:45		
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

		大学等名		ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	高校生の国際観光論①		科目担当者	(学部・学科) 法学部 国際観光学科 (職・氏名) 准教授 瀧森 威 (計4名)	
授業概要 世界中を旅する人も、その場所に住んでいる人も幸せにすることができる。それが「観光」のすばらしさです。この授業ではさまざまなアプローチから楽しく観光を学べます。将来の進路選択にも、見聞を広めるのにも役立ちます。					
授業方法と留意点 高校生の国際観光論②と連続した授業です。観光に関する様々なジャンルの講師が、毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、遠慮なく積極的にリクエストしてください。					
授 業 計 画					
< 6月4日 (木) >					
第1講： 「国際観光論 人びとを幸せにできる観光とは？」 准教授 井上 寛 観光によって、どのように人びとを幸せにできるのでしょうか?イントロダクションの講義です。					
< 6月11日 (木) >					
第2講： 「聖地巡礼 映画「ちはやふる」の世界へようこそ」 教授 橋元 志保 「君の名は」「ちはやふる」をはじめとする人気のアニメ・映画の舞台を旅する「聖地巡礼」が今、ブームとなっています。一緒に、素晴らしい物語の舞台を旅してみませんか。ちはや達が夢になった百人一首カルタも体験してみましょう。					
< 6月18日 (木) >					
第3講： 「エアラインビジネス ヒコーキが世界をつなぐ」 教授 横田 恵三郎 少し昔の人々にとって海外旅行は夢のまた夢でした。その夢を手軽に実現させたのは航空の発達が大きな理由であるといっても過言ではありません。そんな夢を運んだ航空産業のプロが講義します。					
< 6月25日 (木) >					
第4講： 「世界のホテル 非日常空間とおもてなしの演出」 教授 塚原 雄二 自宅とホテルとの違いとは一体何でしょうか?自宅は日常空間、そしてホテルは非日常のおもてなし空間であることです。その空間を演出するためにどのような仕掛けがあるのでしょうか。ホテルのプロフェッショナルが講義します。					
テキスト	テキストは使用しません。資料などは当日配布します。				
参考文献	適宜紹介します。				
関連科目	地歴・公民、外国語（英語など）、現代文				
開講日時	6/4 (木)	6/11 (木)	6/18 (木)	6/25 (木)	
	17:30~19:00				
会 場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	ノースアジア大学				
	電話：018-836-1326（平日9:00~17:00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp				

		大学等名	ノースアジア大学	
科目名 (サブタイトル)	高校生の国際観光論②	科目 担当者	〈学部・学科〉 法学部 国際観光学科 〈職・氏名〉 准教授 瀧森 威 (計3名)	
授業概要	世界中を旅する人も、その場所に住んでいる人も幸せにすることができる。それが「観光」のすばらしさです。この授業ではさまざまなアプローチから楽しく観光を学べます。将来の進路選択にも、見聞を広めるのにも役立ちます。			
授業方法 と留意点	高校生の国際観光論①と連続した授業です。観光に関する様々なジャンルの講師が、毎回スライドを使用してわかりやすく講義します。自分が知りたいことは、遠慮なく積極的にリクエストしてください。			
授 業 計 画				
< 7月2日 (木) >				
第1講： 「VRツーリズム これまでにない価値観を生む」 准教授 瀧森 威 VRツーリズムにより、過去や未来に時代をタイムスリップすることができる！そんなワクワクする技術を紹介します。				
< 7月9日 (木) >				
第2講： 「ヘリテージツーリズム 太陽のピラミッド」 准教授 三浦 薫 メキシコにはマヤ文明世界遺産に関する世界遺産が数多くあります。世界遺産登録制度は観光地として有名になるための制度ではありません。スペイン語も学びつつ、世界遺産登録の本当の意味を考えてみましょう。				
< 7月16日 (木) >				
第3講： 「ダークツーリズム 世界一周の旅」 准教授 デファルコ・リーア・アン ダークツーリズムとは一体どのような観光なのでしょう？カナダ人講師が世界中を英語とフランス語でご案内します。				
テキスト	テキストは使用しません。資料などは当日配布します。			
参考文献	適宜紹介します。			
関連科目	地歴・公民、外国語（英語など）、現代文			
開講日時	7/2 (木)	7/9 (木)	7/16 (木)	
	17:30~19:00			
会 場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	ノースアジア大学			
	電話：018-836-1326 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp			

		大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	ようこそ看護学の世界へ (扉の向こうにあなたの未来がある)	科目 担当者	(学部・学科) 看護福祉学部 看護学科 (職・氏名) 教授 小玉 光子 他 (計4名)
授業概要 人々の健康や生命を守る看護の本質に触れながら、看護を必要とする方たちの健康を支援する看護学の魅力を紹介します。看護学科の専門領域の授業を通して、看護学の今後の可能性を高校生の皆さんと共に考えていきます。			
授業方法と留意点	大学で行っている「看護学」の講義や演習を身近に感じてもらえるように、受講者参加型の内容も含めながら、有意義な授業となるよう努めます。		
授 業 計 画			
< 7月18日 (土) >			
第1講：(12:00~13:30) 「小児看護とプレパレーション」 小児看護学 助 教 伊藤 洋介			
第2講：(13:45~15:15) 「活動援助技術のコツを知ろう！」 基礎看護学 講 師 小畑 千春			
< 8月22日 (土) >			
第3講：(12:00~13:30) 「のぞいてみよう母性看護学～新生児のケア～」 母性看護学・助産学 准教授 工藤 優子			
第4講：(13:45~15:15) 「認定看護師が伝える“皮膚の大切さ”」 基礎看護学 教 授 小玉 光子			
この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所：大館市清水2丁目3-4			
テキスト	適宜資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	基礎看護学、小児看護学、母性看護学、助産学		
開講日時	7/18 (土)	8/22 (土)	
	12:00~15:15		
会 場	秋田看護福祉大学		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学		
	電話：0186-45-1717 (代表) (平日9:00~17:00) E-mail: soumu@well.ac.jp(教務課)		

		大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	福祉学の探究	科目 担当者	(学部・学科) 看護福祉学部 医療福祉学科 (職・氏名) 准教授 石岡 和志 他 (計4名)
授業概要 高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、現代社会が抱える課題を福祉学の視点から考え、福祉学が実践においてこれらの課題にどのように取り組んでいるかについて学びます。また、医療と福祉の連携、福祉学を学ぶことの魅力について考え知る機会とします。			
授業方法と留意点	相談援助の現場での実際的な課題を提示し、授業参加者とともその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。		
授 業 計 画			
<u>< 7月18日 (土) ></u>			
第1講：(12:00~13:30) 「地域福祉の実践～高齢者や障害者が安心して暮らすためには～」 社会福祉学 准教授 石岡 和志			
第2講：(13:45~15:15) 「高齢刑余者に対する福祉的支援の意義を探究する」 リーガルソーシャルワーク 助 教 林 宏二			
<u>< 8月22日 (土) ></u>			
第3講：(12:00~13:30) 「はっぴーえんど～最期(さいご)を支える生活支援の可能性～」 臨床社会福祉学 助 教 山田 克宏			
第4講：(13:45~15:15) 「医療的ケアとは」 医療福祉学 准教授 今野 修			
この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所：大館市清水2丁目3-4			
テキスト	適宜資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	社会福祉学・精神保健福祉学・障害者福祉学		
開講日時	7/18 (土)		8/22 (土)
	12:00~15:15		
会 場	秋田看護福祉大学		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学		
	電話：0186-45-1717 (代表) (平日9:00~17:00) E-mail: soumu@well.ac.jp(教務課)		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授

		大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	高校生のための看護学入門 (「生きる」を支える人になる)	科目	(学部・学科) 看護学部 看護学科
		担当者	(職・氏名) 講師 新沼 剛 他 (計2名)
授業概要 各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。			
授業方法と留意点	講義はオムニバス形式で下記の担当者が行います。		
授 業 計 画			
< 6月13日 (土) >			
第1講： (13:30~15:00)			
「高校生のための老年看護学 『認知症の人の理解』」			
講師 吹田 夕起子			
高齢化の進展に伴い認知症の人は増加し、日本では様々な取り組みがされています。看護の対象である認知症の人の理解を深め、認知症の人と家族への支援について考える機会にしたいと思います。			
第2講： (15:15~16:45)			
「高校生のための災害看護学『日本赤十字社による災害救護活動』」			
講師 新沼 剛			
東日本大震災を事例に、日本赤十字社の災害救護活動を概観し、災害時における看護師の役割について理解を深めます。			
テキスト	講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	6/13(土)		
	13:30~16:45		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学		
	電話：018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		


令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	超絶素描の体操 (柔らかい感性と手の動きのために)	科目 担当者	(学部・学科) アーツ&ルーツ専攻 (職・氏名) 教授 藤 浩志
<p>授業概要 素描をやったことのある人、やったことのない人、超絶上手な人、全く描けない人のための超絶素描の体操。</p> <p>頭を柔らかくし、素描の基礎となる考え方、描き方を藤浩志独自の視点で説明し時間内出来る限り数多くの素描を描きます。素描を始める人にぜひ知ってほしい手と指と頭の体操です。</p>			
授業方法 と留意点	様々な素材を利用して多くの種類の線を描きます。		
授 業 計 画			
《先着20名で募集を締め切ります》			
< 6月7日 (日) >			
第1講：(10:00~11:30)			
「手の動きと線の動きの体操からはじめます」			
<u>※11:30~13:00 昼食時間と自由研究 (昼食を持参ください。)</u>			
第2講：(13:00~14:30)			
「モチーフを選んで加工してたくさん描いてみる」			
第3講：(14:50~16:20)			
「もっとモチーフを選んで加工して描いてみる」			
この授業は、 美大サテライトセンター を会場に開講します。			
住所：秋田市中通2丁目8番1号 フォンテAKITA 6階			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/7 (日)		
	10:00~11:30	13:00~14:30	14:50~16:20
会 場	美大サテライトセンター		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課		
	電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	美大の大石膏像： 古代彫刻の傑作を描く	科目 担当者	〈学部・学科〉 アーツ&ルーツ専攻 (職・氏名) 准教授 皆川 嘉博	
授業概要 秋田公立美術大学のギリシア彫刻・ルネッサンス期の大石膏像を描きます。 ギリシアヘレニズム期のニケ像。アポロン全身像。ヘルメス全身像。ドナテロ作：ジョルジョ全身像。 ミケランジェロ作：奴隸像。どれも古代彫刻の傑作です。 短い時間ですが、普段みなさんが見ることのない全身像を描く事により、古代彫刻の本質に迫ります。 基本的に木炭を使い、木炭紙倍版（65cm×100cm）の大きな画面に、自分が気に入った彫刻を、 のびのびと制作して下さい。意欲的な、みなさんをお待ちしております。				
授業方法 と留意点	画材は、基本は木炭。倍版木炭紙に描きます。 木炭紙大 クロッキー帳、鉛筆デッサン用具（2B～6Bの鉛筆数本、 消し具を用意して下さい）を持参する事。 木炭・木炭紙倍版、クリップ等は大学で用意します。			
授 業 計 画				
《先着10名で募集を締め切ります》				
< 7月5日（日） >				
第1講：（9：30～11：00） 「ガイダンス。クロッキー帳に構図のクロッキー（15分）。 すぐに大画面にうつります。」				
第2講：（11：10～12：40） 「倍版：木炭デッサン」 ※12：40～13：20 昼食時間（昼食を持参ください。）				
第3講：（13：20～14：50） 「倍版：木炭デッサン」				
第4講：（15：00～16：30） 「倍版：木炭デッサン 16：00～講評会」 この授業は、秋田公立美術大学を会場に開講します。 住所：秋田市新屋大川町12-3 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車（380円）徒歩1分				
テキスト				
参考文献				
関連科目				
開講日時	7/5（日）			
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会 場	秋田公立美術大学			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478（平日8：30～17：15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）			

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	多様な美術の価値観を知る	科目担当者	〈学部・学科〉ビジュアルアート専攻 (職・氏名) 教授 島屋 純晴	
授業概要				
第1講の講義に於いて現代の多様な美術（デザインや工芸も含む）の価値観について知る。 第2講から演習授業でアルミ製の造形作品を制作し、立体造形についての知識と技術を学ぶ。				
授業方法と留意点	美術と多様性と価値観を知り、社会における美術（デザイン・工芸を含む）の必要性と求められる役割について考察する。			
授 業 計 画				
《先着10名で募集を締め切ります》				
<7月5日（日）>				
第1講：（9：30～11：00） 「現代の多様な美術（デザインや工芸も含む）の価値観について 講義形式で学ぶ。」				
第2講：（11：10～12：40） 「立体造形作品の形を考え、デッサン等で具体化する。」				
※12：40～13：20 昼食時間（昼食を持参ください。）				
第3講：（13：20～14：50） 「午前中に考案した形をもとに、ヘラ等でオープンキャストの 砂型鑄造の準備作業を行う」				
第4講：（15：00～16：30） 「砂型鑄造で、立体造形作品の鑄造を行い、 アルミニウムの作品を制作する」				
この授業は、秋田公立美術大学を会場に開講します。 住所：秋田市新屋大川町12-3 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車（380円）徒歩1分				
テキスト	スライドを使った、テキストで紹介する			
参考文献	特になし（必要に応じてプリントを配付する）			
関連科目				
開講日時	7/5（日）			
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会 場	秋田公立美術大学			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478（平日8：30～17：15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）			

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	立体構成入門 (ケント紙による造形)	科目 担当者	(学部・学科) ものづくりデザイン専攻 (職・氏名) 教授 安藤 康裕 准教授 熊谷 晃	
授業概要				
ケント紙を使って造形を行い、基礎的な立体構成について学ぶ。				
授業方法 と留意点	初心者でも参加しやすく解りやすい解説を行い実際に制作して検証します。 カッターナイフ、接着剤等を使います。			
授 業 計 画				
《先着15名で募集を締め切ります》				
< 6月21日 (日) >				
第1講：(9:30~11:00)				
「立体構成の概要と留意点の解説」				
第2講：(11:10~12:40)				
「ケント紙を使用した試作制作」				
「試作の講評会」				
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)				
第3講：(13:20~14:50)				
「作品制作」				
第4講：(15:00~16:30)				
「講評会」				
この授業は、秋田公立美術大学を会場に開講します。				
住所：秋田市新屋大川町12-3				
※秋田駅西口より秋田中央交通バス 新屋線「美術大学前」下車(380円)徒歩1分				
テキスト	講義内容をまとめた資料(一部抜粋)。ワークショップ用資料を配付			
参考文献	授業の中で紹介			
関連科目				
開講日時	6/21 (日)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会 場	秋田公立美術大学			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡(日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)			

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	リ・デザイン (社会に充満するデザインの 有用性、社会性、意味を探る)	科目 担当者	(学部・学科) コミュニケーションデザイン専攻 (職・氏名) 教授 阪口 正太郎	
授業概要	世界はデザインで埋め尽くされている。そのデザインは私たちの生活を豊かにし、楽しく便利にしてくれます。ヒトからヒト、社会からヒト、モノからヒトへ。それらをつなぐモノがデザインです。授業ではヴィジュアルデザインを中心に講義し、簡単な制作実習を通してデザインの有用性と意味を考えます。			
授業方法 と留意点	2コマ目は写真撮影(デジタルカメラでもスマホカメラでも可)してデザイン収集のフィールドワークをします。見つけたデザインを改善するリデザイン制作を各自行います。アイデアデザイン制作のために各自自分の使いやすいスケッチ描画道具を持参してください。(要旨は支給します。描画道具は鉛筆一本でも構いません)			
授 業 計 画				
《先着20名で募集を締め切ります》				
<7月26日(日)>				
第1講：(9:30~11:00)				
「社会を埋め尽くすデザイン」 講義				
<ul style="list-style-type: none"> ・これもデザイン、あれもデザイン。 ・社会で役立つデザインとは。 ・見えるデザインと見えないデザイン。 				
第2講：(11:10~12:40)				
「デザインを探す。分類する。感じる。」 フィールドワーク				
フィールドワークを行い、収集した気になるデザインを元にグループワークショップを行います。				
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)				
第3講：(13:20~14:50)				
「リデザインする」 制作				
<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考のプロセス、問題発見から問題解決へ。 ・リ・デザインする。 ・制作したデザインの発表と講評。 ・今日のまとめ 				
テキスト	なし			
参考文献	授業の中で紹介します			
関連科目	情報、美術			
開講日時	7/26(日)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課			
	電話：018-888-8478(平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡(日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)			

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	景観デザインワークショップ (地域資源の気持ちになって考えよう)	科目 担当者	〈学部・学科〉 景観デザイン専攻 (職・氏名) 准教授 菅原 香織	
授業概要 地域資源を生かした景観デザインを考えるワークショップ形式の授業です。秋田駅西口バスターミナルを参考事例としたケーススタディ、「地域資源クエスト」によるフィールドワークやデザインワークを行います。				
授業方法 と留意点	フィールドワークとデザインワークはチーム編成をして行います。能動的な態度を心がけて下さい。 活動中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加して下さい。			
授 業 計 画				
< 8月23日(日) >				
第1講：(9:30~11:00) 「地域資源を生かした景観デザイン 地域資源クエストとは」(講義)				
第2講：(11:10~12:40) 「地域資源フィールドワーク 仲小路~秋田駅西口~広小路~千秋公園」(現地調査) ※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)				
第3講：(13:20~14:50) 「フィールドワークのまとめと共有 ディスカッション」(演習)				
第4講：(15:00~16:30) 「地域資源デザインワーク アイデア展開とふりかえり」(演習)				
テキスト	地域資源クエスト https://ru-cas.jp/rediscovery/quest/			
参考文献	この地に“技あり”プロジェクト http://co-atelier.jp/			
関連科目	景観デザイン演習1、地域プロジェクト演習A・B			
開講日時	8/23(日)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478(平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡(日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)			

		大学等名	秋田公立美術大学	
科目名 (サブタイトル)	地形と建築・都市のデザイン		科目 担当者	〈学部・学科〉 景観デザイン専攻 (職・氏名) 助教 井上 宗則
授業概要	第1講では、国内外の建築や都市のデザインを地形との応答関係から読み解いていきます。第2・3講では、秋田市中心市街地の地形と都市構成に着目し、街を歩きながら過去の痕跡と現代の空間利用の接点を探っていきます。			
授業方法 と留意点	机上で学んだ知識を、実際のフィールドに出て活用することに力点をおいた授業です。 歩きやすい格好で受講してください。			
授 業 計 画				
《先着10名で募集を締め切ります》				
< 6月28日(日) >				
第1講：(11:10~12:40)				
「地形と建築・都市の関係」				
地形を巧みに利用した建築や集落、地形的要因に縛られない建築様式、技術の進歩が可能にした地形のような建築等、地形と建築・都市の応答関係を国内外の事例をもとに解説します。				
※12:40~13:20 昼食時間 (昼食を持参ください。)				
第2講：(13:20~14:50)				
「風景を読むフィールドワーク」				
秋田市中心市街地の風景を、微地形に潜む過去の痕跡と現代の利用形態から読み解きます。				
第3講：(15:00~16:30)				
「フィールドワークの振り返り」				
フィールドワークで体得した知見を、フリーディスカッションを通して全受講者間で共有します。				
テキスト	特になし			
参考文献	特になし			
関連科目				
開講日時	6/28(日)			
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課			
	電話：018-888-8478(平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡(日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)			

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	正倉院とシルクロードの古代美術	科目担当者	(学部・学科) 美術教育センター (職・氏名) 准教授 井上 豪
授業概要	正倉院宝物の名品を紹介し、ペルシアやインド、ギリシアなど古代世界の幅広い文化交流の後を追う。正倉院宝物は天平時代工芸美術の粋を集めた、最高峰の宮廷コレクションであった。そこには遣唐使がもたらした中国・唐の国際的な文化が反映され、当時のシルクロード交易によるペルシアやインドの影響が色濃く窺える。本講座では、古代美術の意匠や技法を紹介するとともに、古代世界を遙かにつなぐシルクロードの文化について幅広く考えていきたい。		
授業方法と留意点	作品等のスライドを織り交ぜた講義形式。板書は要点のみに押さえるので、各自で内容をまとめつつノートを取ることが望まれる。		
授 業 計 画			
＜6月27日（土）＞			
第1講：（13：30～15：00）			
「螺鈿紫檀五絃琵琶 ～古代楽器のルーツを探る～」			
正倉院の五絃琵琶は、世界で唯一現存する五絃琵琶の遺品である。古代の琵琶には五絃と四絃の二種があり、ともに仏教壁画などに描かれているが、二つの琵琶は、実は全く起源の違う別の楽器だった。本講義では正倉院楽器に見られる華麗な美術工芸の世界と、シルクロードを巡る楽器の世界について探っていきたい。			
第2講：（15：15～16：45）			
「紫檀木画碁局と木画紫檀双六局 ～古代ボードゲームの東西～」			
正倉院宝物の碁盤と双六盤をとりあげる。碁と双六はともに奈良時代以前に日本に伝わり、伝統的な盤上遊戯として千年を超えて受け継がれてきた。碁は紀元前の中国が起源、双六の起源には諸説あるが、その原形は古代エジプトやメソポタミアに遡るといい、ペルシアやギリシアで爆発的に流行したものであるという。本講座では正倉院のゲーム盤をテーマに、装飾工芸とその意匠、ゲームの伝来など、多角的な視点で古代文化の伝来を読み解いていきたい。			
テキスト	特になし		
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/27（土）		
	13：30～15：00	15：15～16：45	
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478（平日8：30～17：15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

		大学等名		聖霊女子短期大学	
科目名 (サブタイトル)	初めての言語学			科目	(学部・学科) 生活文化科 生活文化専攻
				担当者	(職・氏名) 講師 ジョン サーロー
授業概要 何気ない気持ちで毎日使っている言葉（言語）について考える。コミュニケーションの観点から言葉の大切さや面白さを体験させる。					
授業方法と留意点		短い講義と簡単なグループワーク・意見交換を行う。			
授 業 計 画					
< 6月5日（金） >					
第1講： 「言語学とは何か」 基本的な考え方・分野及び用語の説明					
< 6月12日（金） >					
第2講： 「音声学と意味論」 発音の仕組み、音と単語と意味との関係					
< 6月19日（金） >					
第3講： 「文法」 語形論（単語の形）・語順・文構造等					
< 6月26日（金） >					
第4講： 「心理言語学」 言語習得及び思考・感情・認知等について					
< 7月3日（金） >					
第5講： 「社会言語学・方言学」 年齢・性別等による言葉の使い方の違い					
テキスト	毎回プリントを配布する。				
参考文献	なし				
関連科目	なし				
開講日時	6/5（金）	6/12（金）	6/19（金）	6/26（金）	7/3（金）
	17：30～19：00				
会 場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111（平日9：00～17：00） E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp				

		大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	ようこそ保育の道へ	科目担当者	(学部・学科) 生活文化科 生活こども専攻 (職・氏名) 講師 畠山 君子 他 (計5名)
授業概要	生活こども専攻で開講されている「保育内容総論」「身体表現」「幼児理解」「乳児保育」「子どもの音楽」の中から下記のような内容で5人の先生が授業を展開します。		
授業方法と留意点	講義と演習を組み合わせて高校生にわかりやすく授業します。特別準備することはありませんので楽しく参加してください。		
授 業 計 画			
< 7月30日 (木) >			
第1講：(13:00~14:30)			
「ようこそ保育の道へ」			
講 師 畠山 君子			
意外に知られていない幼児教育についての歴史を学び、保育とは、子どもとは、保育者とはなどの問いを一緒に考えてみましょう。			
第2講：(14:45~16:15)			
「子どもの世界をのぞいてみよう」			
講 師 藤田 洋子			
子どもは遊ぶことが大好きです。「やりたい」「もっとやりたい」の心が弾む幼児の遊びを楽しく体験します。			
< 7月31日 (金) >			
第3講：(13:00~14:30)			
「子どもを援助する～絵を使って子どもと仲良くなろう」			
教 授 織田 栄子			
第4講：(14:45~16:15)			
「乳児と遊び」			
講 師 石井 美和子			
赤ちゃんは「五感」をすべて使って遊んでいます。一緒に赤ちゃんの遊びを体験してみませんか。			
< 8月1日 (土) >			
第5講：(13:00~14:30)			
「うたあそびとミュージックベル」			
講 師 佐藤 眞由子			
・楽にあわせて手話や、手遊び、手合わせ遊びを楽しみましょう！			
・ミュージックベルで皆さんとアンサンブルを楽しみましょう！			
テキスト	なし		
参考文献			
関連科目			
開講日時	7/30 (木)	7/31 (金)	8/1 (土)
	13:00~16:15		13:00~14:30
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111 (平日9:00~17:00) E-mail: tandajimu@akita-seirei.ac.jp		

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	食品と栄養の基礎知識 (栄養士、管理栄養士、 栄養教諭の仕事を理解するために)		科目 担当者	(学部・学科) 生活文化科 健康栄養専攻 (職・氏名) 准教授 高山 裕子 他(計4名)
授業概要 栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、食品衛生学、給食管理、調理学といった分野について、基礎的で簡単な実験や演習も取り入れて解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明。				
授業方法と留意点 授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味をもってもらうことである。資料は各講師が講義前にプリントとして配付する。 <u>筆記具を持参</u> してほしい。 第1講～第4講のうち、第3講と第4講は <u>聖霊女子短期大学で行う</u> 。調理室で調理実習を行うので、 <u>エプロンと三角巾</u> を持参してほしい。				
授 業 計 画				
<u><6月20日(土)></u>				
第1講：(13:30～15:00) 「健康と栄養」				
講 師 浅野 純平				
身体と栄養素について学び、実際に体組成計(体重計に体脂肪や筋肉量の測定機能などがついた計器)を用いて自己の身体状況を把握し、栄養状態について考えます。				
第2講：(15:15～16:45) 「はじめての食品成分表」				
講 師 豊嶋 瑠美子				
身近な食品の栄養価を知り、それらはどのような働きをしているのか理解しましょう。				
<u><7月25日(土)></u>				
第3講：(13:00～14:30) 「給食を提供するということ」				
講 師 伊藤 雅子				
給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。(会場：聖霊女子短期大学、集団調理の機器見学含む)				
第4講：(14:30～16:00) 「地域食材と調理」				
准教授 高山 裕子				
秋田県の食材の魅力を知り、その特徴を活かした献立作成と調理法について、実習を通して学びます。 (会場：聖霊女子短期大学、持参するもの：エプロン、三角巾)				
第3、4講は聖霊女子短期大学を会場に行います。 住所：秋田市寺内高野10-33 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円)				
テキスト	配布資料			
参考文献	定めない			
関連科目	生物、化学、家庭科、保健体育			
開講日時	6/20(土)		7/25(土)	
	13:30～16:45		13:00～16:00	
会 場	カレッジプラザ		聖霊女子短期大学	
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111(平日9:00～17:00) E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp			

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	身近な社会福祉の問題を考えてみよう	科目担当者	〈学部・学科〉 介護福祉学科 (職・氏名) 教授 土室 修 他 (計2名)
授業概要 私たちが暮らす地域の中にはどのような福祉課題があるのか、それらの解決に向けてどのような仕組みづくりがなされているかについて解説していきます。			
授業方法と留意点	主に講義形式で授業を行います。		
授 業 計 画			
< 7月29日 (水) >			
第1講： (13:00~14:30)			
「秋田の地域が抱える福祉課題について」			
教 授 土室 修			
第2講： (14:45~16:15)			
「秋田における介護福祉の課題」			
准教授 藤沢 緑子			
テキスト	講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	7/29(水)		
	13:00~16:15		
会 場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 電話：018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		

		大学等名		聖園学園短期大学	
科目名 (サブタイトル)	楽しく学べる保育入門 (子供とともに歩む保育とは)		科目担当者	(学部・学科) 保育科 (職・氏名) 教授 五十嵐 隆文 他 (計5名)	
授業概要 本学保育科で開講している保育関係科目を、複数の教員がオムニバス形式で紹介して、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育の理解につなげます。					
授業方法と留意点 講義科目と、実際の動きを伴った演習科目の組み合わせで、授業を行います。子どもや保育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要ありません。					
授 業 計 画					
< 6月2日 (火) >					
第1講： 「保育の面白さ ー成長につながるあそびと生活ー (保育実習)」 准教授 猿田 興子					
< 6月9日 (火) >					
第2講： 「保育の現状と未来像 (教育制度)」 教 授 五十嵐 隆文					
< 6月16日 (火) >					
第3講： 「読み解こう！絵本の世界 (児童文学)」 講 師 大原 かおり					
< 6月23日 (火) >					
第4講： 「遊びと心理学 (発達心理学)」 准教授 金澤 久美子					
< 6月30日 (火) >					
第5講： 「子どもって本当におもしろい！子どもの言葉からみえること (保育内容の指導法 言葉)」 准教授 蛭田 一美					
テキスト	なし				
参考文献					
関連科目					
開講日時	6/2 (火)	6/9 (火)	6/16 (火)	6/23 (火)	6/30 (火)
	17:30~19:00				
会 場	カレッジプラザ				
欠席連絡先	聖園学園短期大学				
	電話：018-862-0337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp				

		大学等名		秋田職業能力開発短期大学校	
科目名 (サブタイトル)	模型でさぐる建築の空間構成		科目	(学部・学科) 住居環境科	
			担当者	(職・氏名) 教授 浅倉 卓也	
授業概要	建築物を表現するには、図面やCG、模型など様々な方法があります。この講座では立原道造のヒヤシンスハウスの建築模型を製作しながら、小さな家の工夫やその空間構成について考えてみましょう。				
授業方法と留意点	建築模型製作と聞くと製作が大変なイメージがありますが、製作には当校学生のサポートが付きます。 設計図から立体的な建築模型になるプロセスと楽しさを授業の中で感じ取ってください。				
授 業 計 画					
《先着15名で募集を締め切ります》					
< 7月30日 (木) >					
第1講：(10:30~12:00)					
「建築物の表現方法をさぐってみよう」					
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・平面から立体へ ・CGによる表現と模型表現 ・設計プロセスのなかの建築模型表現 					
※12:00~13:00 昼食時間 昼食を持参ください。					
第2講：(13:00~14:30)					
「建築模型のつくりかた」					
<ul style="list-style-type: none"> ・建築模型製作の道具と材料 ・建築模型製作の手順 					
第3講：(14:40~16:10)					
「建築模型を製作してみよう①」					
<ul style="list-style-type: none"> ・立原道造のヒヤシンスハウスの模型を製作 					
< 7月31日 (金) >					
第4講：(10:30~12:00)					
「建築模型を製作してみよう②」					
<ul style="list-style-type: none"> ・立原道造のヒヤシンスハウスの模型を製作（細部の表現） 					
※12:00~13:00 昼食時間 昼食を持参ください。					
第5講：(13:00~14:30)					
「建築模型を製作してみよう③」					
<ul style="list-style-type: none"> ・立原道造のヒヤシンスハウスの模型を製作（細部の表現） ・ヒヤシンスハウスの工夫 ・まとめ 					
この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所：大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）					
テキスト	自作テキスト				
参考文献					
関連科目	建築プレゼンテーション、建築史				
開講日時	7/30 (木)			7/31 (金)	
	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	10:30~12:00	13:00~14:30
会 場	秋田職業能力開発短期大学校				
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校				
	電話：0186-42-5700（平日9:00~17:00） E-mail: akita-college03@jeed.or.jp				

令和2年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	銀細工の面白さ (シルバーリングを作る)	科目 担当者	(学部・学科) 生産技術科 (職・氏名) 主幹・教授 田山 英臣
授業概要 身近にある金属製品は様々な方法でその形が作られます。金属の中でも銀は安定した性質を持ち、装飾品や生活用品などに広く利用されています。銀の棒材からリングを形づくる手法の紹介とものづくりの楽しさを実感します。			
授業方法 と留意点	金属を接合する溶接技術が身近なところで多く用いられていることを知ってもらう。シルバーリング作りを通し、手作りの難しさと楽しさを知るとともに、ものづくりへの興味・関心を持ってもらう。		
授 業 計 画			
《先着10名で募集を締め切ります》			
< 8月7日（金） >			
「銀細工の面白さ(シルバーリングを作る)」			
第1講：（10：30～12：00）			
<ul style="list-style-type: none"> ・金属の性質と溶接技術の紹介 ・シルバーリングづくり その1(リングサイズの測定と材料準備) 			
※12：00～13：00 昼食時間 昼食を持参ください。			
第2講：（13：00～14：30）			
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーリングづくり その2(リングの成形とろう接) ・シルバーリングづくり その3(リング調整と研磨) 			
この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。			
住所：大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）			
テキスト	自作テキスト・資料		
参考文献			
関連科目			
開講日時	8 / 7（金）		
	10：30～12：00	13：00～14：30	
会 場	秋田職業能力開発短期大学校		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校		
	電話：0186-42-5700（平日9：00～17：00） E-mail: akita-college03@jeed.or.jp		

		大学等名 秋田職業能力開発短期大学校		
科目名 (サブタイトル)	AI入門	科目担当者	<学部・学科> 電子情報技術科 (職・氏名) 教授 浅野 英樹	
授業概要 はじめにAIを含む情報科学の基本を知るために、計算機と通信に関する歴史について学びます。後半では、現在のAIの基本である機械学習(ニューラルネットワーク)の基礎を学び、プログラミングにも挑戦します。				
授業方法と留意点				
授 業 計 画				
《先着10名で募集を締め切ります》				
< 8月3日 (月) >				
第1講：(13:20~14:50) 「 計算機と通信の歴史 」 計算道具から機械式計算機、電子計算機への変遷を概観します。通信の歴史を科学の発展を交えて概観します。また、インターネットおよびブラウザがどのように誕生したかを学びます。				
第2講：(15:00~16:30) 「 ニューラルネットワーク入門 」 現在のAIを支える技術はディープラーニングですが、その基礎はニューラルネットワークです。ニューラルネットワークの入門としてパーセプトロンについて学びます。				
< 8月4日 (火) >				
第3講：(13:20~14:50) 第4講：(15:00~16:30) 「 Pythonによるパーセプトロン、ニューラルネットワークの実装 」 プログラム言語 Python使用して、実際にパーセプトロンやニューラルネットワークのプログラムを作成し動作を確認します。				
この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所：大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）				
テキスト	スライド、自作テキスト			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	数学、物理学、アルゴリズム、プログラミング			
開講日時	8/3 (月)		8/4 (火)	
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50	15:00~16:30
会 場	秋田職業能力開発短期大学校			
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5700（平日9:00~17:00） E-mail: akita-college03@jeed.or.jp			